

熊本市 令和6年度 当初予算(案)のポイント

目次

1. 予算編成の考え方と令和6年度当初予算の柱	2
2. 予算の概要	3
3. 主な取組	4
ビジョン1:こどもが輝き、若者が希望を抱くまち	5
ビジョン2:市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち	8
ビジョン3:市民生活を守る強くしなやかなまち	11
ビジョン4:だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち	12
ビジョン5:豊かな環境を未来につなぐまち	13
ビジョン6:すべての市民がより良い暮らしを営むまち	14
ビジョン7:安全で良好な都市基盤が整備されたまち	16
ビジョン8:市民に信頼される市役所	18
各区のまちづくり／合併3町における新市基本計画に基づく事業	19

4. 関連資料	22
歳入予算の内訳	23
歳出予算(目的別)／(性質別)の内訳	24
国補正予算に対応した 令和5年度補正予算(案)計上事業	26
DXアクションプラン関連事業一覧	27
合併3町における新市基本計画事業	28
主な新規・拡充事業	29
主な廃止・見直し事業	30
消費税率引上げと本市の社会保障に関する取組	31
こども局予算の全体像	32
TSMC関連予算の全体像	35
市税の推移／市債残高の推移	37
各局の取組	40

予算編成の考え方

1 こども・子育て政策の強化 GXやDX等の推進

「こども・子育て政策」のほか、「グリーントランスフォーメーション(GX)、デジタルトランスフォーメーション(DX)等の加速」、「人への投資」などの施策を積極的に推進します。

2 「上質な生活都市」の実現

本市が目指す「上質な生活都市」の実現に向け、まちづくりの重点的取組について着実に進めていきます。

3 予算の「質の向上」

ビルド&スクラップと連動した予算要求の新たなルールを導入し、限られた経営資源の中で必要な施策を着実に推進していきます。

～令和6年度(2024年度)予算編成方針
[令和5年(2023年)10月6日付熊本市財政課]より～

令和6年度当初予算の柱

令和6年度は「**よりよい未来への着実な一歩**」をテーマに設定し、新総合計画における8つのビジョンを柱に予算を編成しました。

ビジョン1 こどもが輝き、若者が希望を抱くまち

ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、
持続的な発展を実現するまち

ビジョン3 市民生活を守る強くしなやかなまち

ビジョン4 だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち

ビジョン5 豊かな環境を未来につなぐまち

ビジョン6 すべての市民がより良い暮らしを営むまち

ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち

ビジョン8 市民に信頼される市役所

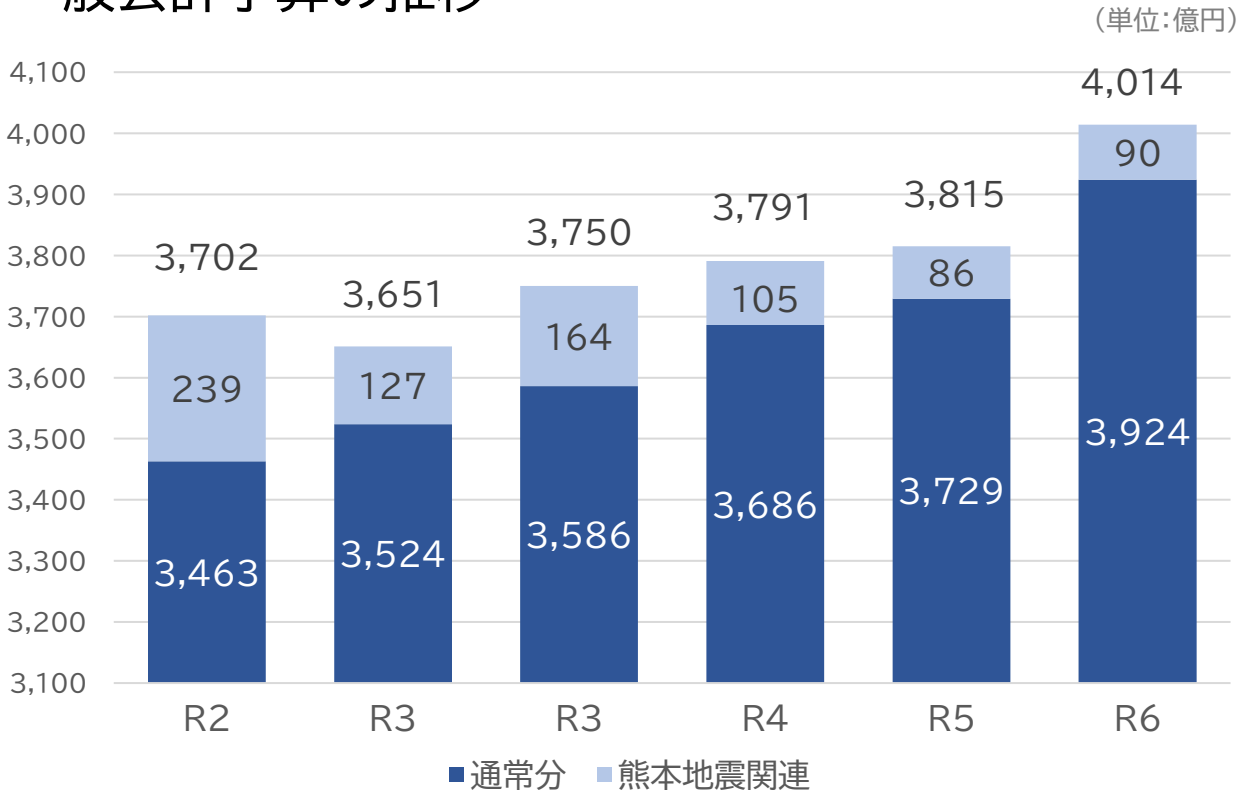
当初予算(案)の概要

- 一般会計は4,014億円で、平成29年の3,948億円を超え、過去最大の予算規模
※令和5年度11月/2月補正予算(案)のうち、国補正予算に対応した経済対策予算52億円を含めた実質的な予算規模は4,066億円
- 令和6年度当初予算から導入した、ビルド＆スクラップに連動した予算要求の新たなルールにより、重点課題対応経費を10億円計上
- 引き続き、熊本地震からの復旧復興のため、熊本地震関連経費に90億円を計上
- 通常分の増加の主な要因は、児童手当拡充や定額減税に係る調整給付等により扶助費が116億円の増、退職手当支給や会計年度任用職員の勤勉手当新設等により人件費が41億円の増、道路整備の加速化等により投資的経費が10億円の増等によるもの
- 特別・企業会計を合わせた総額は7,284億円(対前年比312億円、4.5%の増)

対前年度比較

(単位:億円)				
区分	令和6年度	令和5年度	増減額	伸び率
一般会計	4,014	3,815	+199	+5.2%
特別会計	2,419	2,322	+97	+4.2%
企業会計	851	835	+16	+1.9%
合計	7,284	6,972	+312	+4.5%

一般会計予算の推移



令和6年度 当初予算(案)のポイント 主な取組

【凡例】



: 令和6年度から新たに実施する取組を含む



: 令和6年度より内容を拡充等して実施する取組を含む

主要事業
[〇〇-●●]

: 「令和6年度当初予算(案)の概要」の主要事業一覧との対応

〇〇: 所管局…議会: 議会局、政策: 政策局、総務: 総務局、財政: 財政局、文市: 文化市民局・区役所、
健福: 健康福祉局、こども: こども局、環境: 環境局、経済: 経済観光局、農水: 農水局
都市: 都市建設局、消防: 消防局、教育: 教育委員会事務局、

●●: 主要事業一覧の各局事業の通し番号
例)

主要事業 : 令和6年度当初予算主要事業一覧のこども局の6番「子育て支援アプリ関連経費」
[こども-6]

※   については、取組単位での整理であり、事業単位での整理と一致しない場合があります

ビジョン1 こどもが輝き、若者が希望を抱くまち

【施策】#すべてのこどもの健やかな成長と家庭の幸せへの支援 #こどもを主体とした教育の推進

希望する結婚や仕事と子育ての両立支援 | 保育サービスや幼児教育などの充実 | 最適な教育環境の整備

子育てDX

新

アプリによるこどもの年齢に応じたきめ細かな情報提供

妊娠期から子育て期の保護者向けに、健診や予防接種等の情報を提供するアプリを構築し、子育て支援情報をプッシュ型で発信します。

1,298千円

主要事業
[こども-6]

拡

学校事務連絡アプリの本格導入によるお知らせ等の電子化

令和5年度に試験導入した保護者と学校等との連絡アプリケーションを市内全校に導入します。

14,800千円

主要事業
[教育-1]

拡

公立保育所の一時預かり体制強化

一時保育に係る専任保育士の増員や専用室の整備により受入れ可能人数を増やし、保護者の就労や傷病時の預かり体制を強化します。

13,564千円

主要事業
[こども-11]

新

こども誰でも通園制度(仮称)の試行的実施

0歳6か月～2歳の未就園児を対象に月10時間までの利用可能な枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で利用できる制度を試行的に実施します。

20,608千円

(全額R5.2補計上)
主要事業
[補-こども-1]

拡

児童育成クラブの受入れ体制強化

飽田南校区にて民間委託によるクラブの開設準備を進めるほか、既存施設についても着実に改修を実施し、児童の受入れ体制を確保します。

1,905,400千円

主要事業
[教育-4]

拡

こどもの未来応援基金を活用した保育園等への玩具等支援

保育園等への玩具、本、教材等を支援します。(令和7年度に予定していた認定こども園、地域型保育事業所、認可外保育施設への支援を前倒しし全施設実施)

46,400千円

主要事業
[こども-4]

拡

児童手当の拡充

支給対象を高校生まで拡充し、第3子は支給額を増額するとともに、所得制限を撤廃します。

13,384,000千円

主要事業
[こども-9]

市内全校に本格導入

R5:14校⇒R6:144校

受入れ可能人数の増

専任保育士2名増員により1日あたり

【6名】の増

飽田南校区(R7運用開始)

R7:【96クラブ】で受入れ

R7実施予定分の前倒し分

345施設:34,500千円

玩具等支援のイメージ

R5までに38施設分
R6さらに464施設分
⇒全502施設分
1施設あたり10万円

子育てアプリのイメージ

親子(母子)健康手帳機能
成長グラフ・成長写真・健診記録等

子育て支援機能
イベント検索・関連施設検索・医療機関検索・予防接種スケジューラー等

(仮称)くまもと結婚支援センターのイメージ

結婚支援センター
※専門スタッフによる相談受付(随時)
婚活イベント等の情報提供
①会員登録
②お相手検索
③お引合せ
④交際・結婚の報告
結婚支援ボランティア
連絡・調整
仲介(事後フォロー)
※希望者
マッチングシステム
独身者

結婚支援

拡 結婚支援センターの開設

AIマッチングシステム登録時にマイナンバーカードを活用した本人確認することで安全性・信頼性を確保しながら、結婚を希望するすべての方を支援します。

37,000千円

主要事業
[こども-5]

ビジョン1 こどもが輝き、若者が希望を抱くまち(つづき①)

【施策】#すべてのこどもの健やかな成長と家庭の幸せへの支援 #困難な状況にあるこどもや子育て家庭への支援

こどものいのちと権利を守る取組 | 社会的に支援の必要性があるこどもや子育て家庭への支援 | 地域主体の子育て支援

こどもの最善の利益
地域による支援
母子ケア
若者支援

新

「こどもの権利サポートセンター」によるこどもの権利救済

こどもの権利侵害に関するあらゆる相談通報に専門的に対応するほか、タブレットを使ったこどもからのチャット相談を24時間365日体制で実施します。

24,300千円
主要事業
[こども-1]

拡

意見表明支援員の訪問によるこどもの権利擁護の推進

意見表明支援員(アドボケイト※)を確保・育成し、本市所管のすべての施設を訪問してこどもの意見表明を支援します。
※意見表明が困難なこどもの立場から意見を代弁する代弁者

10,400千円
主要事業
[こども-12]

拡

こどもの居場所の確保

安心・安全な居場所を提供し、こどもや家庭が抱える課題に対し包括的に支援します。(自力通所が困難なこどもへの送迎支援を拡充)

10,000千円
主要事業
[こども-13]

新

新たなこども食堂の開設支援

こども食堂が開設されていない空白地域に新規開設を促すためのPR動画作成やワークショップ開催による既存団体のネットワークづくりを推進します。

1,319千円
(一部R5.2補計上)
主要事業
[こども-3]

拡

産後の母子への専門的なケアの実施

産後における育児の不安や負担、不調を訴える産婦に対し専門的なケアを行い、健やかな育児ができるよう支援します。

44,000千円
主要事業
[こども-7]

新

「(仮称)若者・ヤングケアラー支援センター」の開設

若者が抱える課題解決のため、専門的な相談支援員を配置し、アウトリーチ型の支援に加え、ヤングケアラーに関する専用相談窓口を開設するなど支援を強化します。

12,800千円
主要事業
[こども-14]

支援実施施設の増
R5:4施設⇒R6:23全施設

こどもの居場所の支援拡充
こどもの送迎の実施

訪問型支援の追加
宿泊型・日帰り型・【訪問型】

こどもの権利サポートセンターのタブレット相談の拡充		
	R5事業	R6拡充される対象者／業務
対象者	✓ 市立学校の児童生徒のみ	✓ 市立以外の学校の児童生徒も対象に追加 ✓ 市内在住で、学校に通っていないこどもも対象に追加 ✓ 大人も対象に追加
業務	✓ 相談受付のみ(24時間365日) ※ センター営業日のみ対応	✓ 相談対応(24時間365日) ※随時対応 ✓ パウチャー事業(支援に係るクーポン配布) ✓ 啓発事業(相談カード配布シンポジウム開催) ✓ 相談内容に関するデータ分析

産後ケアのイメージ

授乳指導

母親の休息

育児指導

産後ケアの実施方法

①宿泊型

②日帰り型

③訪問型
[拡充]

円滑な社会生活・社会的自立の実現

《(仮称)若者・ヤングケアラー支援センターの機能拡充》

積極的な支援	訪問支援	訪問して相談を受け付け必要な支援につなげる
	同行支援	医療機関の受診や関係機関訪問等へ同行し支援につなげる
居場所	居場所設置	若者やヤングケアラーがいつでも安心して自由に過ごすことができる居場所づくり
窓口相談	ヤングケアラー専用	状況を把握し、福祉・医療・介護・教育などの関係機関につなげる
連携	関係機関	子ども・若者支援地域協議会/子ども・若者支援地域連絡会議との連携

熊本市 | 6

ビジョン1 こどもが輝き、若者が希望を抱くまち(つづき②)

【施策】#こどもを主体とした教育の推進 #まちを支える人材の確保・育成

こども一人ひとりを尊重した教育の推進 | 最適な教育環境の整備 | 多様な人材が活躍できる環境・体制の整備

教育環境の整備

GIGA

人材の育成と確保

部活動指導員による教員の負担軽減と指導体制の充実 14,047千円

主要事業
[教育-5]

部活動に係る専門的知識・技能を有する地域人材等を増員し、顧問教員の負担軽減や部活動の指導体制の充実を図ります。

不登校対策サポーターの増員による生徒の居場所づくり 56,600千円

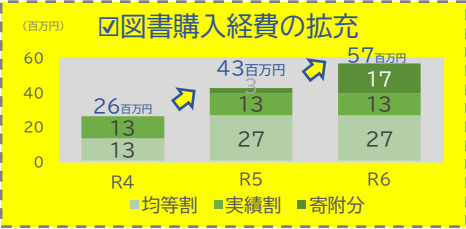
主要事業
[教育-9]

中学校において、別室登校者への対応などを担うサポーターを増員し、生徒の校内における教室以外の居場所づくりなど、校内支援体制の充実を図ります。

小中学校図書の蔵書の充実 56,892千円

主要事業
[教育-7]

令和5年度に均等割を倍増した図書購入経費を、寄附金を活用してさらに増額します。



教育の情報化の推進 1,807,400千円

主要事業
[教育-6]

児童生徒一人一台端末の運用や、普通教室のみに配置していた電子黒板を理科室や音楽室などの特別教室にも配置することで教育環境の充実を図ります。

大学生アシスタントとしての教育現場の体験 8,000千円

主要事業
[教育-8]

教員志望の大学生に学校で学習指導補助を通じて、現場を体験してもらうことで、志望意欲を高め教員の志願者増につなげます。

児童養護施設等の将来的な人材確保支援 49,860千円

主要事業
[こども-15]

施設の人材確保に向け、児童指導員等の資格要件取得を目指す者を補助者として雇い上げる際に、その経費を支援します。

テレワークで活躍できる多様な人材の育成 2,500千円

主要事業
[経済-5]

就労希望者のテレワークスキル習得や企業のアウトソーシングに関するセミナー等を開催し、多様な人材の活躍の機会を創出します。

学校現場における人員配置の推移

	R2	R3	R4	R5	R6	5か年増加率
スクールソーシャルワーカー (配置人数)	10	16	16	16	21	2.1倍
スクールカウンセラー (配置時間)	9,608	12,765	12,538	12,171	12,171	1.3倍
不登校対策サポーター (配置人数)	4	6	14	14	21	5.3倍
学級支援員 (配置人数)	137	138	135	168	187	1.4倍
部活動指導員 (配置校数)	5	5	5	8	11	2.2倍
大学生アシスタント (配置人数)	—	—	—	30	70	2.3倍

電子黒板を活用した授業の風景



電子黒板を特別教室にも追加配置

R5:2445台
⇒R6:3400台

電子黒板の利点

・タブレットと連動
・視覚的にわかりやすい
・授業の効率向上 ほか

ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち

【施策】#半導体関連産業等への新たな投資の後押しや中小企業等の振興 #交流人口拡大によるにぎわいの創出

スタートアップエコシステムの構築と新産業・成長産業の振興 | 戦略的な企業誘致の推進 | 商工業の振興と持続可能な企業活動への支援

スタートアップエコシステムの構築
商工業の振興
企業誘致

- 新

ミドルステージ※から更なる成長を促す伴走支援

スタートアップのミドルステージ以降特有の経営課題を解決するため、課題に応じて専門家を個々に選定し、伴走型支援を実施します。

※ 事業が軌道に乗り始めて成長段階にある企業。この段階では上場等を見据え、経営課題解決が求められる。
- 新

若手起業家のグローバル展開を見据えた支援

若手起業家の海外展開の足掛かりとして、経済産業省主催の起業家育成・海外派遣プログラム「J-StarX」等への採択を目指した伴走型支援を実施します。
- 新

スタートアップワールドカップ開催による機運の醸成

米国で開催される世界最大級のピッチコンテスト※への出場権をかけた九州予選会を本市で開催し、起業家や大手企業、メディア等へのPR機会を創出します。

※ スタートアップ企業等がベンチャーキャピタル等に対して自らの事業計画をプレゼンテーションするコンテスト
- 新

デジタル技術等を活用した中心商店街のにぎわいづくり

AR技術等※を活用したデジタル謎解きスタンプラリーを中心商店街で開催するほか、ナイトタイムエコノミーによる消費の機会を創出します。

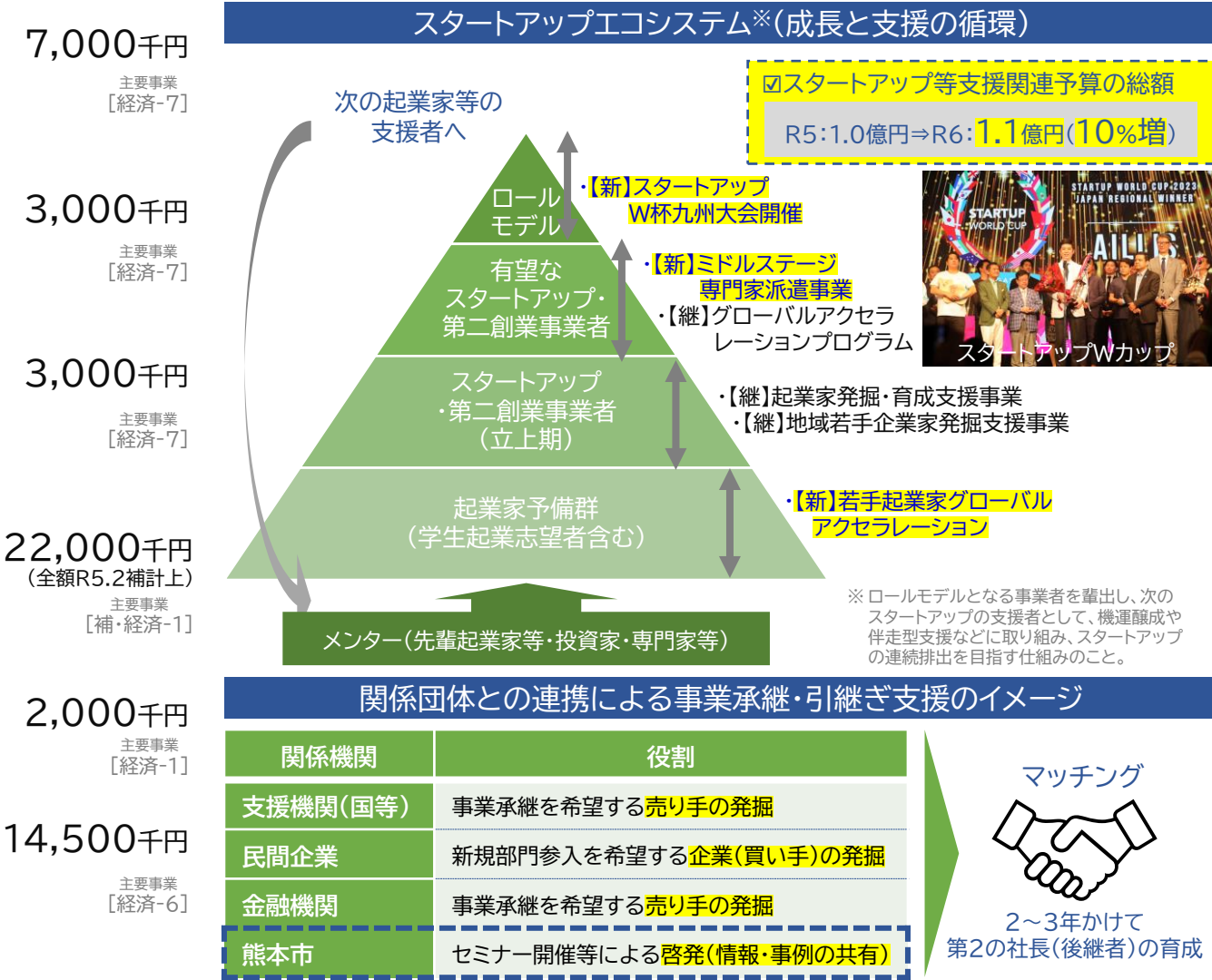
※ スマートフォン等を通し現実空間にCG映像を重ね、あたかも実在するように見える技術
- 新

中小企業の事業承継・引継ぎの促進

事業承継に関する基礎知識や事例を紹介するセミナーを開催し、意識向上を図ります。
- 拡

半導体関連企業の誘致強化

TSMCのサプライヤー企業の調査やセミコン台湾への出展を実施します。



ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち

【施策】#世界を魅了する都市ブランドの向上 #交流人口拡大によるにぎわいの創出

魅力と活力のある中心市街地の形成 | 戦略的な観光施策の展開 | 水の都の継承と森の都の実現

都市の発展

新 中心市街地における街区単位等での面的整備の支援 3,960千円
老朽建築物等の建て替え促進に向け、通りや街区単位でエリアのまちなみルールや建て替えプランの検討を支援します。
主要事業 [都市-5]

新 高付加価値旅行者をターゲットとしたホテルの誘致 4,600千円
高付加価値旅行者※をターゲットとしたホテルの誘致に向けて、事業者ヒアリングや市場調査を実施します。
※ 訪日旅行1回あたりの総消費額100万円以上の旅行者
主要事業 [経済-10]

新 ナイトタイムエコノミーの推進や夜間景観の充実 43,500千円
飲食などを中心とした夜の魅力を発信・活用するナイトコンテンツの造成、熊本城周辺を活用したプロジェクションマッピング等による夜間景観の充実により観光誘客の強化を図ります。
主要事業 [経済-11]

拡 大阪・関西万博を見据えたインバウンド戦略の展開 31,800千円
福岡市ほか13自治体で構成する「西日本・九州ゴールデンルートアライアンス」による広域連携での魅力の発信・プロモーションを展開します。
主要事業 [経済-8]

拡 戦略的なMICE誘致活動の推進 90,000千円
コンベンション開催助成や、国際会議の主催者・キーパーソンとの交流会の実施、支援制度周知のための大学向けセミナーの開催等を通じて誘致を促進します。
主要事業 [経済-12]

動植物園開園100周年記念「サバンナエリア」等の整備 82,000千円
令和11年の展示開始に向け動植物園サバンナエリア等の実施設計を行います。
主要事業 [経済-13]

交流人口の増加

動植物園

動植物園サバンナエリアのイメージ



※ 基本設計時における想定イメージであり、今後実施設計段階で変更になる場合がある。

豊かな水と緑

拡 「くまもと水ブランド」の情報発信 10,400千円
市民向けの「くまもと水フォーラム」の開催や国際会議「世界水フォーラム」への参加を通じ、地下水保全の取組を国内外に発信します。
主要事業 [環境-6]

緑あふれる景観形成 97,300千円
オクス通りの景観重要樹木への標識設置や市有施設の樹木の継続的な点検と危険樹木の撤去・補植を実施し、安全安心な森の都の再生に取り組みます。
主要事業 [都市-28]

ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち

【施策】#活力と魅力に満ちた持続可能な農水産業の振興

競争力の高い農水産業の振興 | しなやかで強い経営基盤の確立 | 農と食の魅力創造

食の
販路
拡大

新 農水産物の販路拡大に向けたECサイトでの個別支援

農水産物生産者がECサイトで販路を確立できるよう、サイト内容の充実や梱包の工夫などについて個別サポートを強化します。

国内外への農水産物の販路拡大

首都圏における販促プロモーションや熊本輸出促進ネットワークを活用した商社等とのマッチングの促進のほか、農協等の組織を通じた販路拡大にも取り組みます。

3,950千円
(全額R5. 2補計上)

主要事業
[補・農水-8]

37,800千円

主要事業
[農水-1]

鳥
獣
対
策

拡 捕獲報酬アップによる鳥獣被害対策の強化

有害鳥獣の捕獲について、本市特産品スイカ等に被害が大きい、アナグマ・タヌキ(中型獣類)の捕獲報償費を引き上げ鳥獣対策を強化します。

22,990千円

主要事業
[農水-5]

経
営
安
定
化

新 土壌診断による施肥の適正化

農業者の土壌養分分析の費用を補助することにより、化学肥料使用量の適正化を図り、肥料原料の国際価格に左右されない安定した生産体制を確立します。

2,300千円
(全額R5. 2補計上)

主要事業
[補・農水-9]

基
盤
整
備

拡 農業基盤整備の着実な推進

農道・用排水路等の整備のニーズに対応することにより農業経営の安定化を図ります。

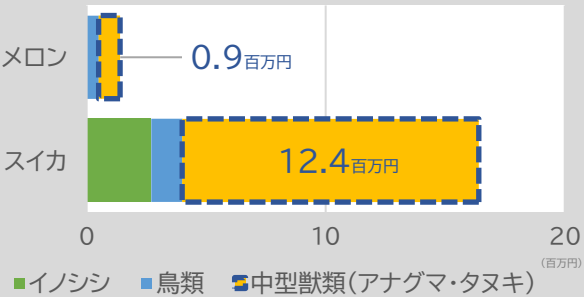
599,974千円

主要事業
[農水-7]

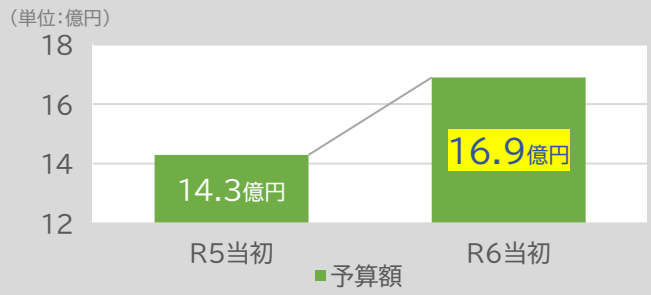
アナグマ・タヌキの捕獲報償費の拡充

(単位:円)				
R5 現行	国	【市】	【市】 上乘せ	R6 以降
生活 被害	0	0	2,000	2,000
農業 被害	1,000	0	1,000	2,000

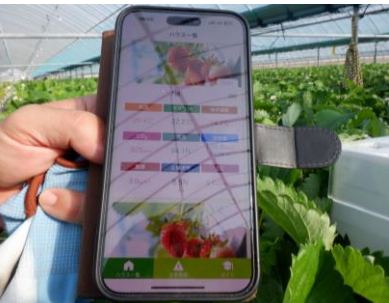
主要農産物における鳥獣別の被害額 (R4)



農業基盤整備・排水機場の更新等の予算規模の拡大



生産性向上の取組例



ビニールハウス内環境モニタリング
温度や湿度等の環境をモニタリングして見える化



乗用型薬剤散布機(樹園地)
農業等を均一に散布可能⇒防除作業を効率化

排水機場更新10か年計画

老朽化が課題となっている農業用排水機場の整備にも計画的に取り組めます。

10年間(R5~):33億円程度

ビジョン3 市民生活を守る強くしなやかなまち

【施策】#防災・減災の推進 #保健衛生体制の強化と医療提供体制の確保 #総合的な消防・救急体制の強化 #交通安全・防犯の推進

都市基盤・防災拠点施設の強靱化 | 消防体制の充実強化 | 防犯の推進及び犯罪被害者等支援の充実 | 保健危機管理体制の強化

拠点整備

新

新庁舎整備の推進

新庁舎整備に向けて、建設地や庁舎の機能・規模、事業手法などの検討を進めるとともに、市民への情報提供・合意形成に取り組みます。

43,000千円

主要事業
[政策-2]

新

西消防署の移転による1区1署体制の確立

西消防署を中央区から西区に移転することで、災害活動対応等の課題に対応し、消防体制の充実強化を図ります。

401,000千円

主要事業
[消防-4]

新

小島出張所の移転

建物の老朽化や大規模洪水による浸水可能性のある小島出張所を移転するための設計に着手します。

14,700千円

主要事業
[消防-5]

防災情報

拡

ハザードマップの機能強化による適切な避難行動の促進

より分かりやすいハザードマップとするため、表示情報を追加する改修を行うほか、視覚障がい者にも対応するため読み上げ機能を追加します。

15,400千円

主要事業
[政策-7]

拡

防災情報を確実に届けるための機器等の整備

緊急告知ラジオの電波不感地区解消のための中継局等の整備や、防災行政無線の屋外子局を増設します。

361,900千円

主要事業
[政策-10]

犯罪被害

拡

犯罪被害者等に対する見舞金制度の創設

犯罪被害者等に対し、市独自の見舞金制度を創設し経済的支援を行うほか、犯罪被害者等の実情に対する理解促進のための広報啓発等を行います。

3,130千円

主要事業
[文市-2]

コロナ

新型コロナウイルスワクチン接種経費

定期接種化後のワクチン接種体制を確保します。

428,000千円

主要事業
[健福-18]



ビジョン4 **だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち**

【施策】# 人権尊重社会の実現 # だれもが生きがいを持ち、お互いに支え合える社会の実現 # 男女共同参画の推進 # 多文化共生の推進

障がいのある人の自立支援と社会参加の推進 | 男女共同参画のための環境整備 | 多文化共生の理解向上

社会参加

新 「バリアフルレストラン」の開催による心のバリアフリーの推進

車いすユーザーと立って歩く人の割合が逆転している架空の社会の演出により、障がいの要因は社会側にあることを直感的に理解できるプログラムを実施し、心のバリアフリーを促進します。

3,000千円

主要事業
[健福-2]

新 医療用ウィッグ等の購入助成によるアピアランスケア※の推進

がん治療に伴う外見の変化を補完するための医療用ウィッグや乳房補整具等の購入費用の一部を助成し、患者の心理的・経済的な負担を軽減します。

※ 外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケアのこと

5,690千円

主要事業
[健福-15]

新 女性のデジタルスキル習得と就職に向けた伴走型支援

非正規労働者の割合が高い女性向けに、企業が求める即戦力となるスキル習得や企業と就労者をマッチングする就労支援を実施します。

5,000千円

主要事業
[文市-3]

拡 庁内の翻訳・通訳体制の強化

台湾からの転入者増加を見据え、行政文書の繁体字等への翻訳や通訳体制を強化します。

3,722千円

主要事業
[政策-5]

新 ヴィーガン・ベジタリアン等の多様な食文化の尊重

飲食店や宿泊施設等向けに、食の多様性のセミナーの開催やメニュー開発支援を実施し、多様な旅行者のニーズに対応します。

4,000千円

主要事業
[経済-9]

男女共同参画

多文化の理解

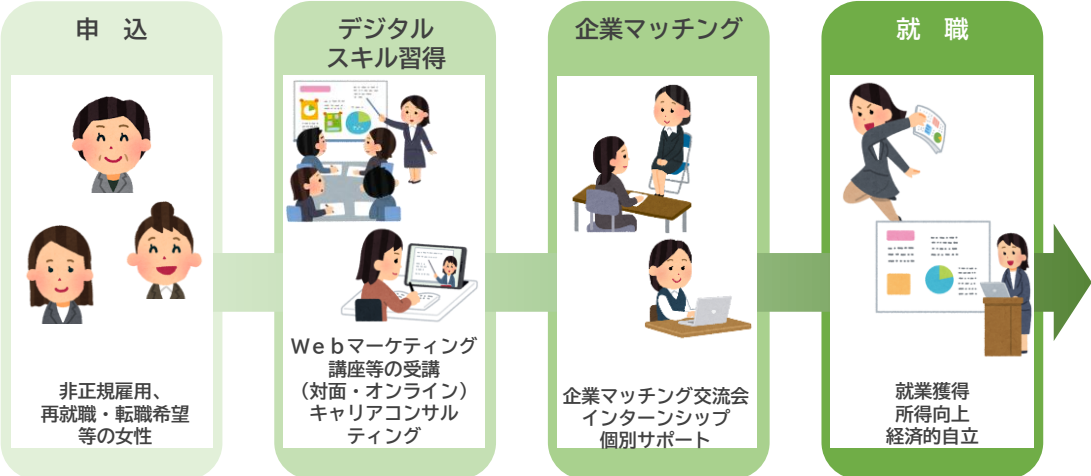


バリアフルレストランのイメージ

提供: (公財)日本ケアフィット共育機構

アピアランスケアの助成内容	
対象	助成金額
ウィッグ等	購入額の1/2 (上限2万円)
シリコンパッド	購入額の1/2 (上限1万円)
人工乳房	購入額の1/2 (上限2万円)

女性のキャリアアップ支援のイメージ



ビジョン5 豊かな環境を未来につなぐまち

【施策】#カーボンニュートラルの実現 #生物多様性の保全と自然との共生 #持続可能な循環型都市の実現 #快適で安全・安心な生活環境の保全

水環境の保全 | 住民や事業者の地球温暖化対策の推進

地下水保全

地下水を未来につなげるための地下水かん養の促進 77,330千円

くまもと地下水財団への負担金や白川中流域において水田湛水を行う農家に対する助成金の拡充により、熊本地域の住民・事業者・行政との協働による地下水保全の取組を強化します。

☑湛水助成金の単価拡充
10a・月あたり:11千円⇒19千円

主要事業
[環境-8,9]

水源かん養林の整備による地下水保全 62,300千円

西原村や大津町等で水源かん養林としての森林整備を実施します。(財源にはグリーン/ブルーボンドを活用予定)

☑水源かん養林の面積拡大
883haから約30ha拡大

主要事業
[環境-10]

水質調査による水質保全対策の強化 2,935千円

公共用水域における水質監視を拡充・強化するとともに、PFOS、PFOA※の値の超過が確認された地点について、地下水保全の対策を強化します。

※ 難分解性、高蓄積性、長距離移動性という性質がある有機フッ素化合物で、人の健康への影響が指摘されている

主要事業
[環境-11]

環境保全

(仮称)環境影響評価条例制定による環境保全の推進 12,900千円

自然環境や環境保全のため、事業計画段階から、事業者自らが環境への影響を調査・予測及び評価を行う(仮称)環境影響評価条例の制定に取り組みます。

主要事業
[環境-1]

脱炭素化

熊本連携中枢都市圏における電力の脱炭素化事業の加速化 89,995千円

国の交付金を活用し、都市圏の市町村が実施する太陽光発電設備の導入やZEB化等の脱炭素化事業の加速化を図ります。

☑熊本市取組分
太陽光発電設備等:9,700千円

主要事業
[環境-3,4]

省エネ家電、電気自動車等を導入する個人・事業者への補助 152,790千円 (一部R5.2補計上)

環境工場の余剰電力を活用した市有施設の電気料金削減効果の一部を活用し、省エネルギー機器等の導入を支援します。

☑省エネ家電※の補助
補助単価倍増:1万円⇒2万円

主要事業
[環境-5]

※ 対象省エネ家電:エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、LED照明

地下水かん養の取組



水田湛水

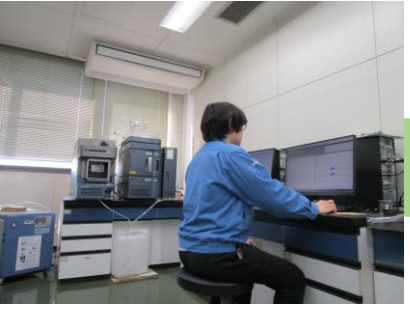


水源かん養林の整備

水質調査の様子



検体の採取



環境総合センターでの精密な検査

安全性の確認

ビジョン6 すべての市民がより良い暮らしを営むまち

【施策】#地域コミュニティ活性化の推進 #人生100年時代を生きるための健康づくりの推進 #文化芸術が持つ多様な価値観の活用

生活習慣の改善と健康づくり | 市民参画・協働による地域コミュニティの活性化 | 文化財の適正な保存と活用の推進

健康づくり

【拡】節目年齢における歯科健診実施による口腔保健の推進 17,800千円

令和6年度に節目年齢を迎える市民を対象に歯科健診を勧奨し、若年期からの歯周疾患の早期発見及び将来の歯周病罹患率の減少を図ります。

☑20歳、30歳の対象追加

【20歳】、【30歳】、40歳、…、70歳

主要事業
【健福-5】

【拡】健康ポイント付与による健康づくり 71,100千円

健康づくり活動を推進するため、健康ポイントアプリを熊本連携中枢都市圏で共同運用し、圏域の自主的な健康づくりを支援します。

☑インセンティブの強化

各抽選会やイベント商品数の充実

主要事業
【健福-6】

民間活力を活用した健康づくり 29,000千円

プロスポーツチーム等と連携して開発した運動プログラムを介護予防教室で実施し、誰でも気軽に楽しく健康づくりに取り組める環境の整備を推進します。

主要事業
【健福-11】

地域活動

【新】「くまもとアプリ」を活用した地域活動の活性化 20,540千円

マイナンバーカードと紐付けたポイントアプリを導入し、ポイント等のインセンティブを付与するとともに、地域活動への参加を「見える化」することで、活動の活性化を図ります。

主要事業
【文市-1】

食育

【新】熊本の食文化の伝承「いきなり団子プロジェクト」の実施 2,000千円

小中学生を対象とした郷土料理教室の実施や地元の農産物を活用した「熊本のごはん」レシピ集の周知啓発により食育を推進します。

主要事業
【健福-7】

文化財

熊本城の文化的価値保全と計画的復旧 2,013,177千円

宇土櫓続櫓石垣解体や本丸御殿大広間復旧設計委託等を実施するほか、最新技術を活用した重要文化財防火対策検討を実施します。

主要事業
【文市-8】

宇土櫓（五階櫓）解体保存工事



宇土櫓解体保存工事外観



宇土櫓解体保存工事内部の様子

くまもとアプリのイメージ



アプリの機能		
ポイント関連	連携	・マイナンバーカードと連携
	付与	・地域活動をした場合 ・災害ボランティアに参加した場合
	交換	・活動証明書の発行 ・商業的利用※令和7年度以降に実施予定
	災害時	・避難所入所時の名簿管理 ・災害ボランティア受付

運動プログラムのイメージ



※写真は令和5年度に実施したロアッソウェルネスプログラムの様子

※こちらはあくまで画面イメージです。実際にリリースするアプリ画面とは異なる場合があります。

ビジョン6 すべての市民がより良い暮らしを営むまち(つづき)

【施策】#生涯にわたる学びやスポーツの推進 #文化芸術が持つ多様な価値の活用

身近に文化芸術に親しめるまちづくりの推進 | 学びの提供と成果をいかす機会の創造 | ライフステージに応じた生涯スポーツの推進

文化振興

新	熊本ならではの漱石文化の振興 夏目漱石第6旧居の取得に合わせ、夏目漱石の熊本におけるエピソードや人間模様を描いたドラマ放映を契機とした漱石文化の振興を図ります。	10,000千円 主要事業 [文市-6]
	熊本の工芸品の開発インターンシップによる魅力の発信 全国からインターンシップ生を募集し工芸品の新商品開発を行うほか、工芸品に触れるイベント開催による魅力発信に取り組みます。	5,185千円 主要事業 [文市-5]
	記念館におけるイベント開催による認知度向上や魅力発信 令和5年度に好評を博した記念館イベントの実施やノベルティ作成により記念館の活用を促進します。	51,500千円 主要事業 [文市-7]

スポーツ振興

新	友好都市・ハイデルベルク市とのスポーツ交流の実施 ドイツ・ハイデルベルク市との協定に基づき、本市のこどもたちをハイデルベルク市に派遣し、サッカーを通じて交流を深めます。	13,200千円 主要事業 [経済-15]
新	生涯スポーツマスタープランの全面的な見直し 生涯にわたるスポーツに親しみ、様々なスポーツを通じて交流が生まれるよう、地域特性、市民ニーズに応じた次期計画を策定します。	7,600千円 主要事業 [経済-14]

学び直し

新	県市連携で運営する夜間中学による学び直しの機会の提供 令和6年4月に開校する県立夜間中学の開校準備経費や運営経費に対し市として負担金を拠出します。	33,398千円 主要事業 [教育-2]
----------	---	--

記念館でのイベントイメージ



ジェーンズ邸クリスマスマーケット



小泉八雲旧居お化け屋敷

夜間学校について



県市で設置する夜間中学校の外観(建設中)

夜間中学について

- 夜間中学とは、公立の中学校の夜間学級のこと
- 文部科学省では、夜間中学が少なくとも各都道府県・指定都市に1校は設置されるよう、その設置を促進している
- 本市は指定都市として、学びの場の確保のため、県との連携協力のもと夜間中学を運営するもの

ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち

【施策】#持続可能で魅力的な都市づくり #豊かな住生活の実現

都市機能の維持・確保と適正な土地利用の促進 | 良好な都市景観の形成 | 持続可能で利便性の高い公共交通体系の構築

公共交通

拡

まちなかフリーパス実証実験による利用促進

180円均一エリアにおいて、土日祝日に路線バスを300円で1日乗り放題となるデジタルチケットによる実証実験の実施等を通じバス利用の促進を図ります。

24,000千円

主要事業
[都市-11]

拡

AIデマンドタクシー本格導入による移動環境の整備

西南地区及び東区に加え、新たに植木地域にAIデマンドタクシーを導入します。

55,200千円

主要事業
[都市-14]

植木地域に新規導入
運行エリア追加: 2⇒3エリア

「バス・電車無料の日」の実施による公共交通の利用定着

自動車から公共交通への転換や渋滞緩和効果の更なる向上のため、連携中枢都市圏構成市町村と連携した無料キャンペーンを実施します。

40,000千円

主要事業
[都市-9]

拡

空き家の除却やリフォーム補助等による空き家を減らす取組

危険な空き家を未然に防ぐ予防的な除却補助や中古リフォーム補助による対策のほか、財産管理人の選任による財産や土地処分等の対策を強化します。

87,500千円

主要事業
[都市-21]

新

市営住宅の管理戸数の適正化に向けた方針策定

適正管理戸数に向けた計画の第Ⅰ期分として、約500世帯を対象に意向調査、入居者カルテ作成、団地ごとの適正化方針を策定します。

13,300千円

主要事業
[都市-20]

住環境

まちなかフリーパスのエリア

AIデマンドタクシーのイメージ

東エリア

西南エリア

システム

ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち(つづき)

【施策】#持続可能で魅力的な都市づくり

良好な道路環境の実現 | 良好な都市景観の形成

駅周辺

中心市街地

自転車

道路整備

熊本駅新幹線口駅前広場の渋滞解消

熊本駅新幹線口駅前広場の渋滞解消に向け、具体的な設計業務を実施します。

中心市街地における歩いて楽しめるまちづくり

安全・安心に回遊でき、昼も夜も歩いて楽しめるまちづくりのため、歩道を拡幅(車線を減少)させた場合の交通への影響を調査する社会実験を実施します。

歴史まちづくり事業

城下町地区の中心に位置し、歴史的建造物の活用が進められている唐人町通りの道路美装化工事に向けて、明八橋周辺の一部区間を先行的に着手します。

自転車利用環境の整備

サイクル&ライド駐輪場の整備や新水前寺駅駐輪場の上屋整備のほか、放置自転車禁止ピクト設置により快適な自転車利用環境を整備します。

「10分・20分構想」の推進

市中心部から高速道路ICや熊本空港までのアクセスを強化する「10分・20分」構想の実現に向けて、住民参加型の道路計画検討や環境保全に関する調査等に取り組めます。

熊本西環状道路の整備推進

池上工区の令和7年度開通及び砂原工区の早期開通に向けて整備を推進します。

70,100千円

主要事業
[都市-4]

49,200千円

主要事業
[都市-3]

66,200千円

主要事業
[都市-6]

29,000千円

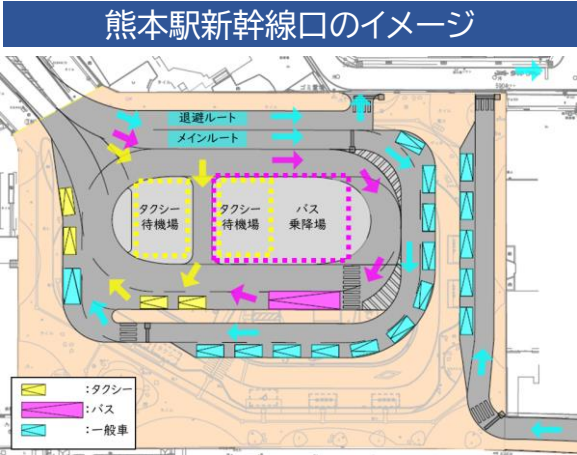
主要事業
[都市-17]

261,000千円

主要事業
[都市-24]

4,974,500千円
(一部R5補正計上)

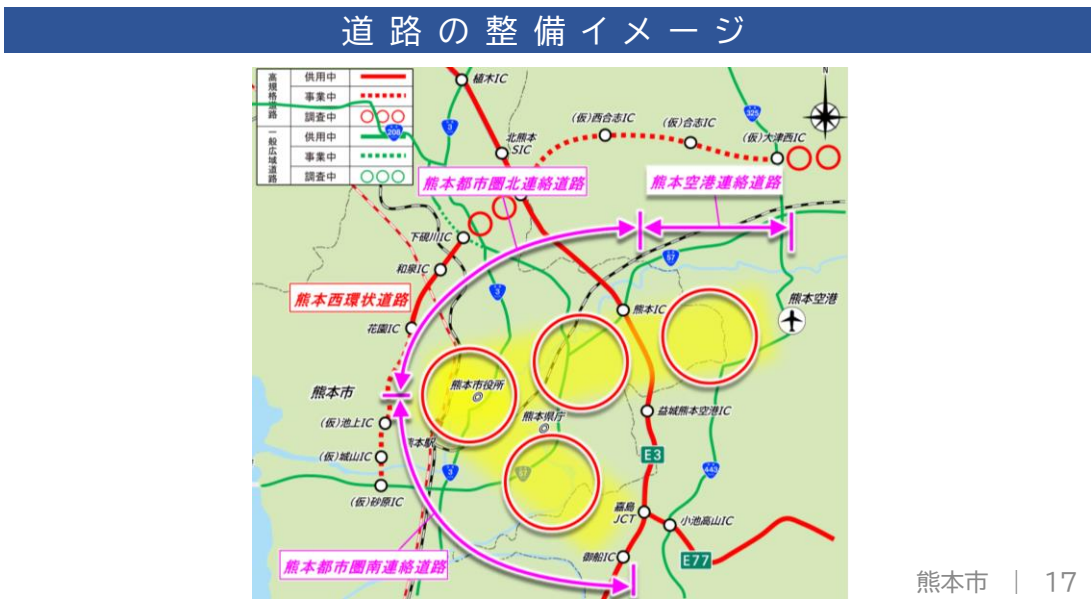
主要事業
[都市-23]



新幹線口駅前広場の改修



池上・砂原工区



ビジョン8 市民に信頼される市役所

【施策】#行政サービスの質の向上と持続可能な行財政運営の推進 #開かれた市役所の実現 #市域を超えた広域的な連携の強化

効果的かつ効率的な行財政運営の推進 | マネジメント機能の強化

新総合計画
情報公開
公契約
市民の利便性向上

拡	新総合計画をアートの視点で発信	12,000千円
令和6年4月にスタートする「熊本市第8次総合計画」を市民に分かりやすく伝えるイベントをアートの視点も交えて熊本市現代美術館で開催し周知を図ります。		
拡	市ホームページを情報が探しやすいサイトへ改修	12,100千円
トップページデザインの改修や、サイト内独自検索機能の追加により、必要な情報を簡易に探することができるホームページへと改修します。		
新	公契約条例制定に向けた検討会議の開催	400千円
令和8年度の条例施行に向け、有識者等で構成される検討会議を開催します。		
新	医療費助成の申請手続きの簡便化	72,100千円
こども、ひとり親世帯、重度心身障がい者(児)に対する医療費助成制度に係る審査支払業務を委託化することで申請・受付双方で負担軽減を図ります。		
医療費関係申請の負担軽減		
来庁する年間約5万人のうち		
約43%が来庁せずに申請手続可		
新	行かない・書かない・待たない窓口の推進	45,400千円
区役所の窓口業務の課題分析及び業務フローの見直しなどの業務改善(BPR)に取り組み、書かない窓口の導入検討を進めます。		
拡	多様な決済手段の導入	41,752千円
市の窓口におけるキャッシュレス化や現金取り扱い時のミス削減等のためセミセルフレジを導入します。		

書かない窓口のイメージ

STEP 1

職員が窓口支援システムに申請
情報を入力

STEP 2

受付データを業務システム
に自動入力

STEP 3

証明書等を受け取り、
多様な決済手段で決済

複数の窓口で情報連携
例)転入時、住民票の転入手続きを行うと、国保窓口では情報が連携されるため書類の一部が記載不要となる。

業務改革

拡 データ利活用の環境整備やEBPM※の推進 44,100千円

データを利活用できる人材の育成や、データを活用した企画立案の伴走支援のほか、庁内各課に蓄積されたデータを活用可能な状態にする環境整備を実施します。

新 デジタル人材の育成 4,428千円

デジタルに関する高度専門資格の取得やDXの実践に向けたスキルの習得を支援し、専門性の高いデジタル人材の育成に取り組みます。

新 定型業務の集約化による業務改善 48,000千円

各部署で対応している類似の定型業務を(仮称)総合行政事務センターに集約し、効率的に処理することで、行政サービスの質の改善を図ります。

※ 証拠に基づいた政策立案のこと

区における自主自立のまちづくり

主要事業
[文市-9]

支援の方針
まちづくり

- (1)地域の魅力をいかした特色あるまちづくりを推進します。
- (2)住民同士がつながり、支え合える環境づくりと、地域で活動する個人・団体、多様な主体の連携を促進します。
- (3)住民が地域活動に参加しやすく、また、生きがいを持てるような仕組みを作ります。
- (4)デジタル技術を活用することで、地域の課題解決や魅力向上を図り、暮らしやすく、持続可能なまちづくりを推進します。

中央区

新 地域と企業等を結ぶ応援事業 1,000千円

地域活動に企業や大学生の参加を支援し、地域活動の担い手不足解消や参加率向上を図ります。



拡 元気チャージプロジェクトの推進 1,000千円

食、健康、歯科に関する啓発動画の作成やイベントを通じて区民の健康づくりへの関心を高めます。



東区

新 Instagramを活用した地域活性化 1,841千円

東区公式Instagramを使って東区の魅力を区民へ情報発信し、地域への郷土愛を育み、地域活動参加の増加につなげます。



新 地元高校生による地域の活性化 1,000千円

まちづくり事業を地元高校生が企画、実施し、その親世代を含めた幅広い世代への地域活動への意識づけを図ります。



西区

新 校区単位の健康まちづくり 1,402千円

健康課題や生活習慣改善、健診受診向上に関する動画の作成・発信を通じて、健康改善や健康づくりの取組につなげます。



拡 地域防災力の向上 1,741千円

地域主体の防災訓練の実施や防災シンポジウムの開催等を通じて、防災対応力の向上を図ります。



南区

新 防災バスツアーの開催 758千円

県内の震災遺構等を巡るバスツアーを企画し、熊本地震の記憶の風化を防ぐとともに、区民の防災意識の向上を図ります。



新 史跡等を巡るデジタルスタンプラリー開催 1,000千円

スマホアプリを活用した区内の文化財や史跡等を巡るスタンプラリーを開催し、健康増進や魅力再発見を促すとともに、デジタル化への区民の関心を高めます。



北区

新 地域団体と企業連携事業 119千円

イベント等を通して、商工会、地元企業、大学などが連携・協働することで地域の魅力の再認識、地域活動の参加の促進を図ります。



拡 「北区の魅力！」発信事業 1,181千円

区の花「ひまわり」等を活用し小学生を対象にした絵画コンクールの実施やひまわりの種を学校等への配布などを通して、区民の地元への愛着を深めます。



5区共通

新 地域担当職員研修の実施 1,000千円

課題分析等のまちづくりコーディネーターとしての資質向上のための研修を実施します。

拡 まちづくり活動の周知やイメージアップ 1,181千円

まちづくり活動そのものの周知やイメージアップといった全市共通の広報啓発を実施します。

まちづくり 推進経費
各区19百万円
共通5百万円
計1億円

合併3町における新市基本計画に基づく事業

合併した地域における着実な都市基盤の整備

	道路整備	水道・下水道の整備	義務教育施設の整備	農業基盤整備の推進	計画の進捗状況(累計) ① 事業費ベース =(執行額)/(計画額) ② 事業数ベース =(完了事業)/(計画事業)
富合地域 1,722百万円	56,047千円	437,182千円	344,497千円	308,522千円	①233億円/158億円 ②41事業/49事業
城南地域 1,811百万円	478,402千円	1,074,506千円	0千円	139,478千円	①295億円/211億円 ②69事業/70事業
植木地域 2,334百万円	460,247千円	1,279,479千円	335,169千円	249,880千円	①350億円/290億円 ②48事業/58事業

※計画事業以外の関連事業を含む。

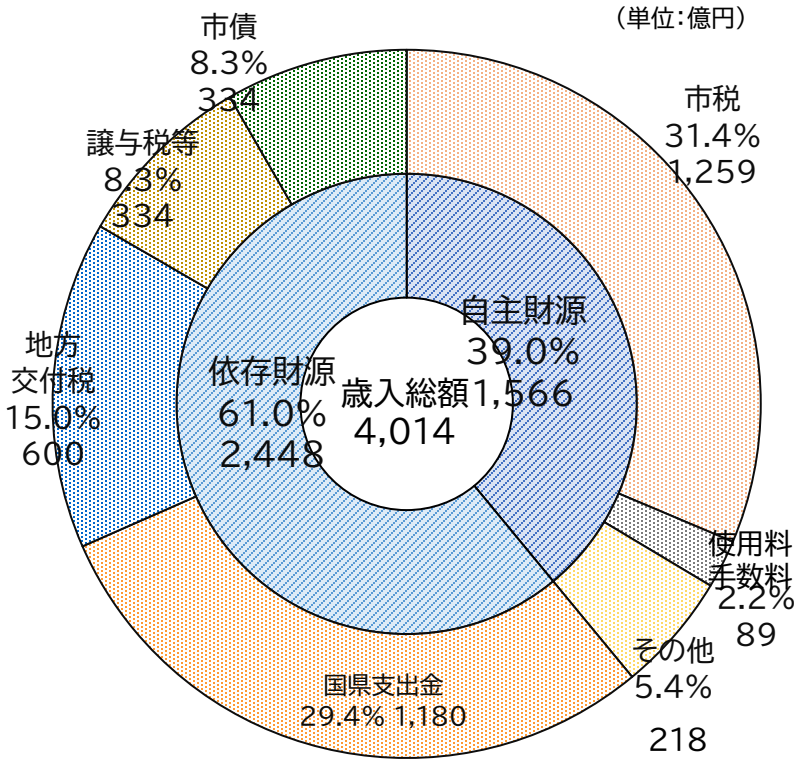
令和6年度
当初予算(案)のポイント
関連資料

一般会計 歳入予算の内訳

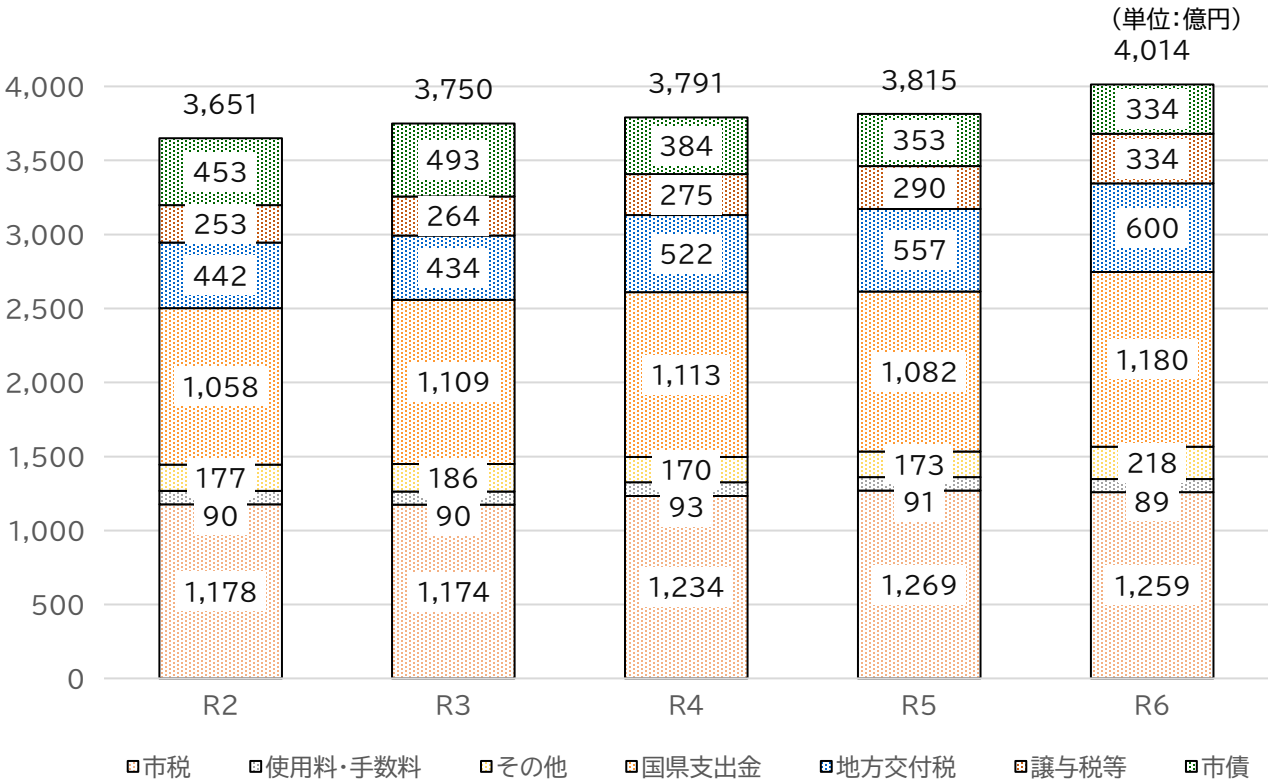
- 市税は、定額減税※の影響による個人市民税の減などにより、市税全体では前年度から10億円減の1,259億円(前年度比△0.9%)
- 国県支出金は、児童手当拡充や定額減税に係る調整給付に係る国庫支出金の増などにより、前年度から98億円増の1,180億円(対前年度比+9.1%)
- その他は、繰入金における退職手当基金繰入金の増などにより、前年度から32億円増の80億円(前年度比+66.1%)

※ 令和6年度税制改正により実施される個人住民税の定額減税。減収分については地方特例交付金により国から全額補填され、地方特例交付金を加味した実質的な市税は1,301億円程度。

歳入予算の構成



歳入予算の推移



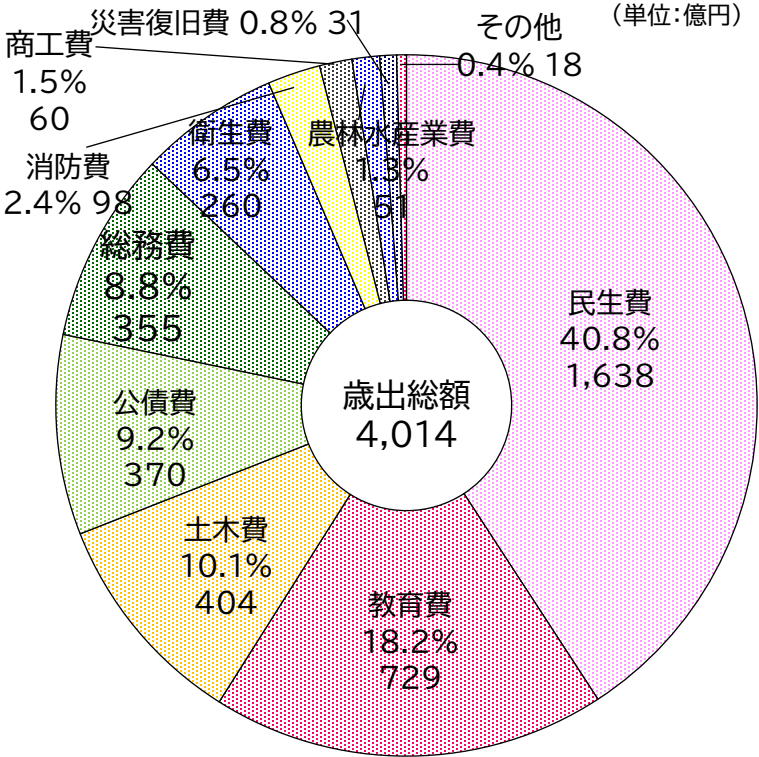
※四捨五入の関係で、足し上げた数値の合計や差引きの数値が一致しない場合があります。

一般会計 歳出予算(目的別)の内訳

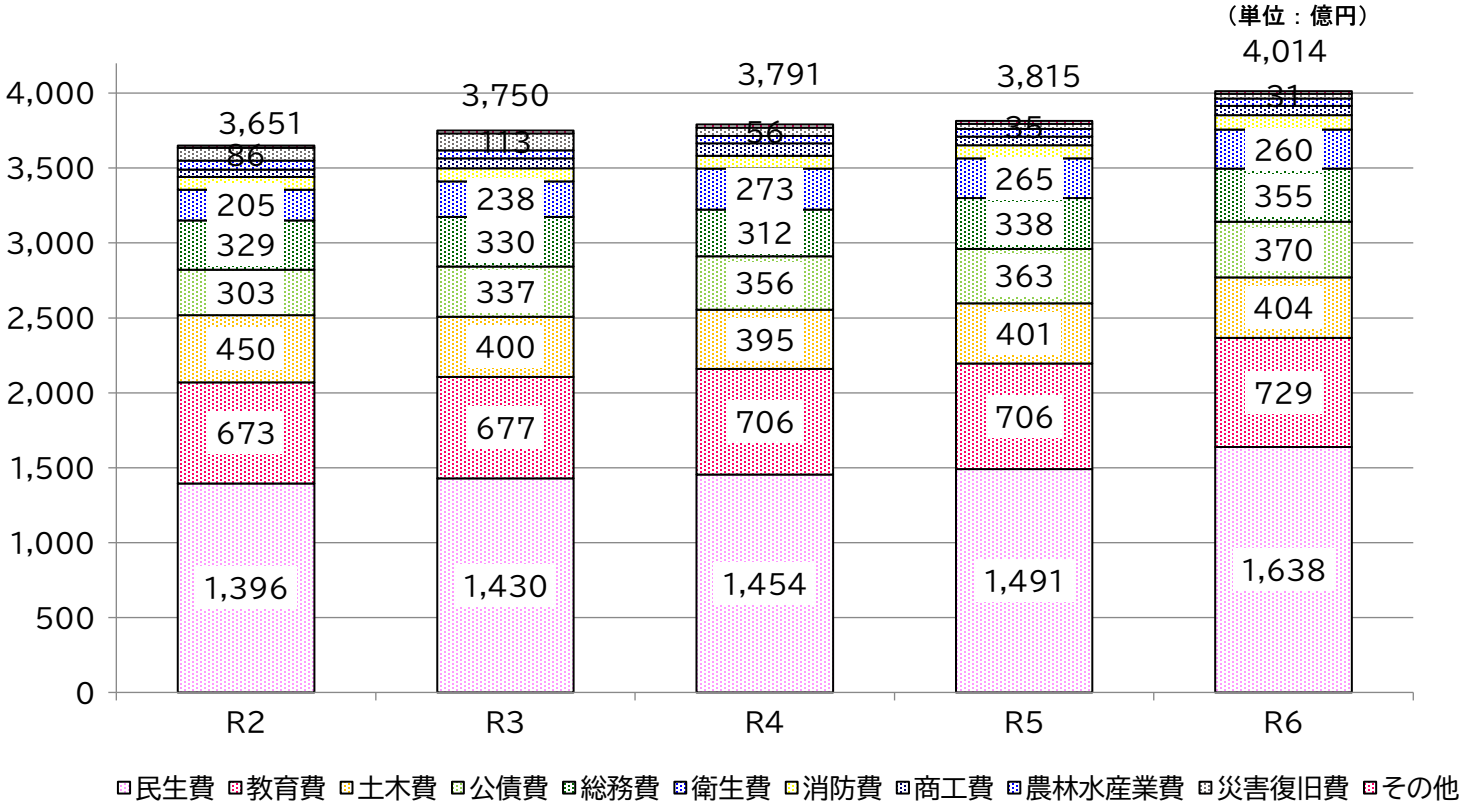
- 民生費は、歳出全体の約4割を占め、児童手当拡充による給付の増や定額減税に係る調整給付等により前年度から147億円増の1,638億円(対前年比+9.9%)
- 教育費は、退職手当等※の増に伴う職員人件費等の増などにより、23億円増の729億円(対前年度比+3.3%)
- 総務費は、総合文書管理システム等の改修経費の増等により、16億円増の355億円(対前年度比+4.9%)

※ 定年の段階的な引き上げにより、2年に一度、定年退職者が生じないこととなり、引き上げが行われた令和5年度に対し令和6年度は退職手当額が大幅に増額している。なお、負担を平準化するため令和5年度に「退職手当基金」を造成し、年度間の財源調整を行っている。

歳出(目的別)の構成



歳出(目的別)の推移

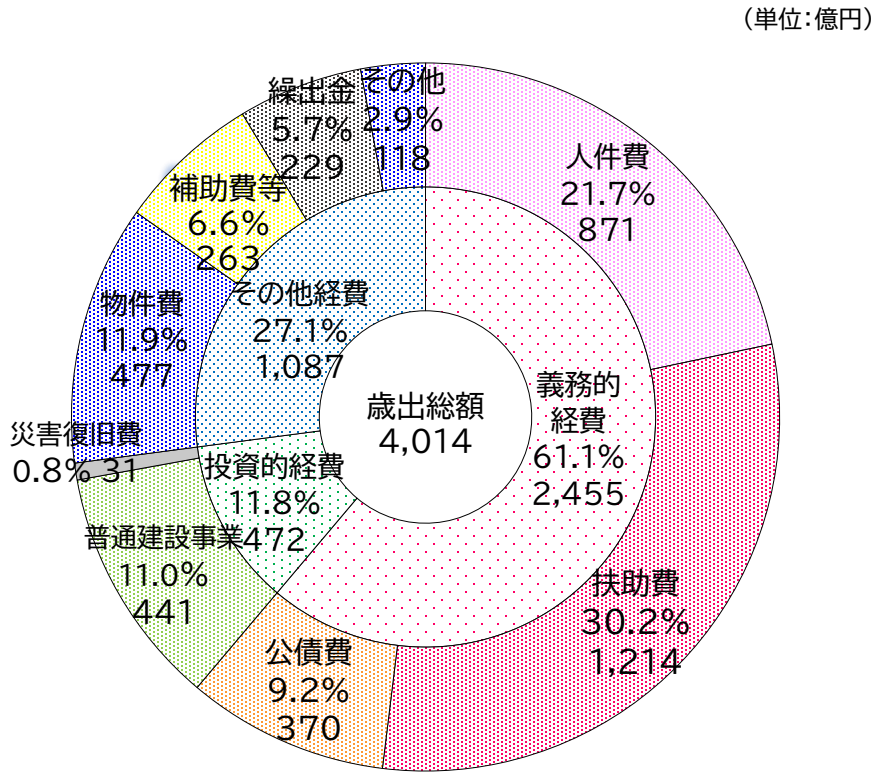


※四捨五入の関係で、足し上げた数値の合計や差引きの数値が一致しない場合があります。

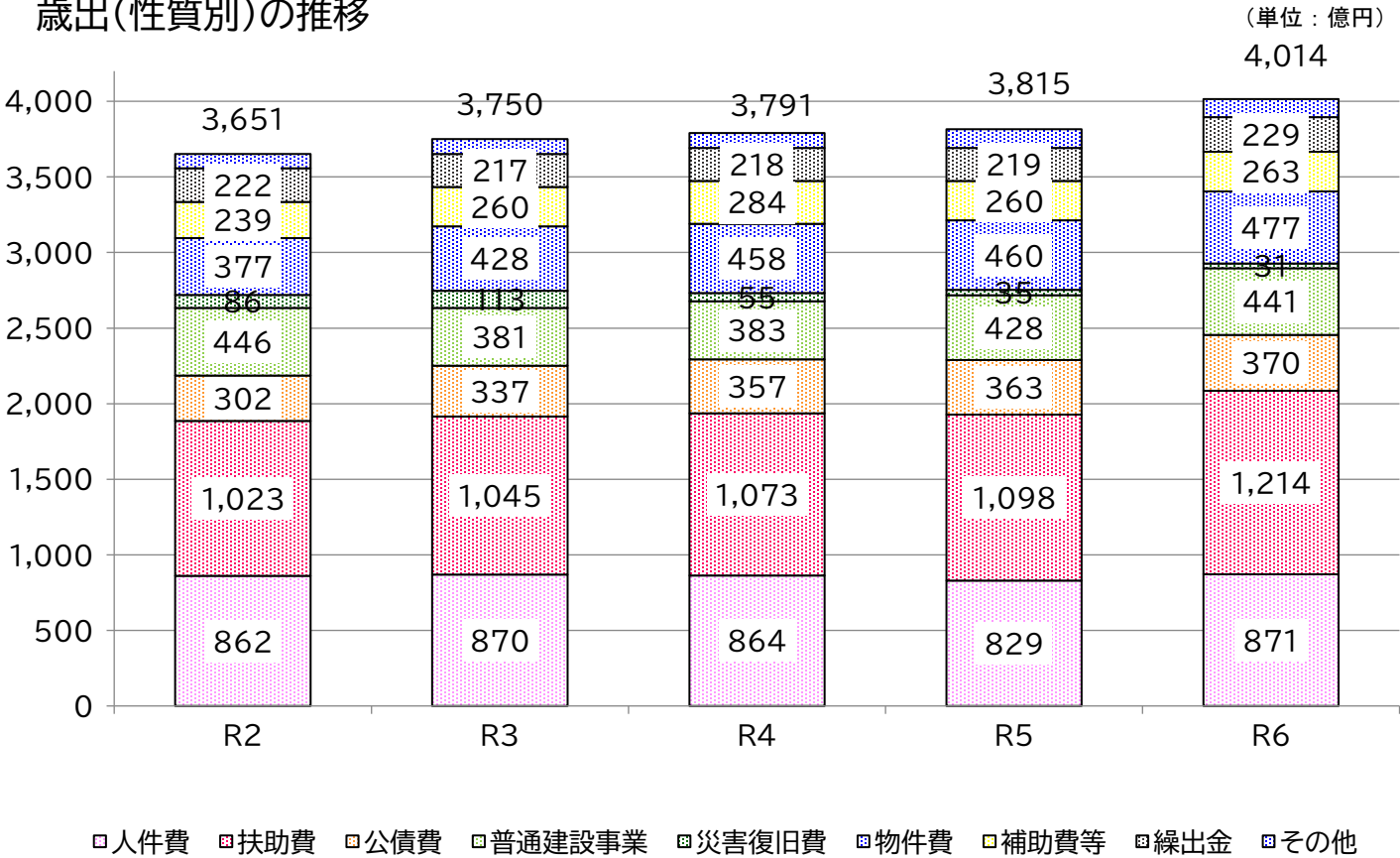
一般会計 歳出予算(性質別)の内訳

- 人件費、扶助費、公債費の義務的経費は全体の約6割を占め、前年度から165億円増の2,455億円(対前年度比+7.2%)
- 扶助費は、児童手当の拡充による給付の増や定額減税に係る調整給付等などの増により、前年度から116億円増の1,214億円(対前年度比+10.6%)
- 普通建設事業費は、道路整備の加速化や西消防署移転事業の増等により、前年度から13億円増の441億円(対前年度比+3.0%)

歳出(性質別)の構成



歳出(性質別)の推移



※四捨五入の関係で、足し上げた数値の合計や差引きの数値が一致しない場合があります。

関連資料

国補正予算に対応した令和5年度補正予算(案)計上事業

19事業 51.6億円

国の令和5年度補正予算に対応し、物価高騰対策や、防災・減災、国土強靱化を推進する事業を展開します。(単位:千円)

	局	課	事業名	最終予算額
Ⅰ. 物価高から国民生活を守る(5事業)				515,650
	物価高により厳しい状況にある生活者・事業者への支援			515,650
	環境局	脱炭素戦略課	省エネルギー等推進経費	59,600
	経済観光局	商業金融課	商店街地域資源活用事業	22,000
	農水局	農業政策課	ECサイトにおける生産者の個別支援事業	3,950
			化学肥料低減対策事業	2,300
	教育委員会	健康教育課	学校等給食食材高騰対策緊急支援事業	427,800
Ⅱ. 地方・中堅・中小企業を含めた持続的賃上げ、所得向上と地方の成長を実現する(2事業)				204,905
	経済の回復基調の地方への波及及び経済交流の拡大			204,905
	農水局	農業政策課	畑地化促進事業	125,210
			産地パワーアップ事業	79,695
Ⅲ. 成長力の強化・高度化に資する国内投資を促進する(0事業)				0
Ⅳ. 人口減少を乗り越え、変化を力にする社会変革を起動・躍進する(4事業)				164,408
	包摂社会の実現(4事業)			164,408
	こども局	こども政策課	新たなこども食堂支援事業	1,000
		保育幼稚園課	こども誰でも通園制度(仮称)関連経費	20,608
			保育所等におけるICT化推進等事業	135,300
		こども家庭福祉課	児童養護施設等ICT化推進事業	7,500
Ⅴ. 国土強靱化、防災・減災など国民の安全安心を確保する(8事業)				4,275,798
	防災・減災、国土強靱化の推進			4,209,591
	健康福祉局	介護保険課	高齢者施設等防災機能強化支援事業	66,350
		障がい福祉課	障がい者支援施設等における耐震化整備等支援事業	53,100
	農水局	農業政策課	県営事業負担金	65,184
			水産物供給基盤機能保全経費	37,000
	都市建設局	移動円滑推進課	港湾県事業負担金	229,000
		土木総務課ほか	防災・減災、国土強靱化等対応経費(道路・河川・公園ほか)	2,665,471
	教育委員会	学校施設課	防災・減災、国土強靱化等対応経費(学校施設関連)	1,093,486
	国民の安全・安心の確保及び外交・安全保障環境の変化への対応			66,207
	農水局	農業政策課	食料産業・6次産業化支援事業	66,207
合 計 (19事業)				5,160,761

関連資料 DXアクションプラン関連事業一覧

26事業 23.8億円

令和6年度当初予算(案)に計上しているDXアクションプラン関連事業

5つの重点プロジェクト

- ①行かない・書かない・待たない窓口の推進 ②教育DX ③介護DX
④MaaS推進事業 ⑤マイナンバーカードの利活用拡大

(単位:千円)

局 名	課 名	No.	重点	事 業 名	事 業 費
(1)窓口DX					193,725
総務局	管財課	1		市役所駐車場管理運営経費(キャッシュレス決済)	686
	情報政策課	2	①・⑤	電子自治体推進経費(書かない窓口検討)	45,400
		3	①・⑤	電子自治体推進経費(電子申請サービス)	29,284
財政局	税制課	4		セミセルフレジ導入経費	11,938
文化市民局	地域政策課	5		窓口改革推進経費(セミセルフレジ導入)	29,814
		6		社会保障・税番号制度推進経費	70,850
	文化財課	7		記念館活用関連経費	5,753
(2)こども・教育DX					1,875,721
こども局	こどもの権利サポートセンター	8		こどもの権利サポートセンター運営経費(チャット相談)	5,500
	こども政策課	9	⑤	結婚支援事業(AIマッチングシステム)	20,498
	こども支援課	10		子育て支援アプリ関連経費	1,298
	保育幼稚園課	11		公立保育所キャッシュレス化推進経費	1,143
	教育政策課	12	②	学校事務DX推進経費	14,800
教育委員会	市立図書館	13	②	図書館管理運営経費	22,973
	必由館高校	14	②	高校改革関連経費(必由館)	2,109
	教育センター	15	②	教育の情報化推進経費	1,807,400
(3)保健・福祉DX					71,100
健康福祉局	健康づくり推進課	16		健康ポイント事業	71,100
	介護保険課	17	③	(要介護認定審査業務効率化対策事業)※特別会計	(109,090)

局 名	課 名	No.	重点	事 業 名	事 業 費
(4)産業・観光DX					20,000
	経済観光局	経済政策課	18	中小企業等DXアクセラレーション事業	20,000
(5)都市・交通DX					55,913
都市建設局	交通企画課	19		公共交通利用促進事業	713
	移動円滑推進課	20		MaaS推進経費(AIデマンドタクシー運行)	55,200
	(交通局)	(総務課)	21	(市電キャッシュレス化) ※企業会計	※(21,812)
(6)地域・防災DX					29,717
政策局	危機管理課	22		被災者生活再建支援システム経費	8,385
総務局	情報政策課	23	①・⑤	電子自治体推進経費(書かない窓口検討) ※再掲	(45,400)
		24	①・⑤	電子自治体推進経費(電子申請サービス) ※再掲	(29,284)
文化市民局	地域活動推進課	25	⑤	くまもとポイント事業	20,540
こども局	こども政策課	26	⑤	結婚支援事業(AIマッチングシステム) ※再掲	(20,498)
消防局	管理課	27		消防行政DX推進事業(Live119)	792
(7)市役所DX					138,439
総務局	管財課	28		公用車管理関係経費(公用車予約貸出管理システム)	1,833
	情報政策課	29		電子自治体推進経費(デジタル人材育成)	4,428
		30		電子自治体推進経費(AIチャットボット・AI議事録)	2,178
		31		庁内ネットワーク整備経費(テレワーク環境整備)	130,000
合 計 (26 事 業)					2,384,615

※事業数や合計金額は特別会計・企業会計分や再掲事業を含んでいない

関連資料 合併3町における新市基本計画事業(関連事業を含む)

(単位:千円)

① 富 合 地 域	項 目	予算額	内 容
	道路整備	56,047	富合宇土南北線改良事業等
	義務教育施設整備	344,497	富合小・富合中学校舎改築事業等
	農林事業	308,522	土地改良事業、湛水防除事業等
	福祉施設整備	900	障がい者住宅整備費助成
	県営事業負担金	9,400	木原川改修事業
	水道事業	71,182	水道施設整備等
	下水道事業	366,000	下水道施設整備等
	その他	565,600	富合まちづくりセンター改修工事等
	合 計	1,722,148	
② 城 南 地 域	項 目	予算額	内 容
	道路整備	478,402	舞原中央線道路改良事業、道路維持補修事業等
	農林事業	139,478	土地改良事業、湛水防除適正化事業等
	福祉施設整備	900	障がい者住宅整備費助成
	水道事業	398,506	水道施設整備等
	下水道事業	676,000	下水道施設整備等
	その他	118,183	火の君文化センター改修工事等
	合 計	1,811,469	
③ 植 木 地 域	項 目	予算額	内 容
	道路整備	460,247	道路維持補修事業等
	義務教育施設整備	335,169	桜井小校舎改修事業等
	農林事業	249,880	土地改良事業等
	福祉施設整備	700	障がい者住宅整備費助成
	水道事業	126,479	水道施設整備等
	下水道事業	1,153,000	下水道施設整備等
	その他	8,830	植木文化センター改修工事等
	合 計	2,334,305	

関連資料 主な新規・拡充事業(重点課題対応経費)

令和6年度当初予算から、重点課題対応経費に新たなルールを設け、ビルド＆スクラップと連動した要求の仕組みを導入しました。

I 主な新規事業

[①こども施策] (単位:千円)

局 名	課 名	項 目	予 算 額
こども局	こどもの権利サポートセンター	1 こどもの権利サポートセンター運営経費	24,300
	こども政策課	2 新たなこども食堂支援事業	1,319
	こども支援課	3 子育て支援アプリ関連経費	1,298
	こども家庭福祉課	4 (仮称)若者・ヤングケアラー支援センター運営経費	12,800
		5 児童養護施設等体制強化事業	49,860

[②こども施策以外] (単位:千円)

局 名	課 名	項 目	予 算 額
政策局	政策企画課	1 新庁舎整備推進経費	43,000
	国際課	2 第2期国際戦略推進経費	8,530
総務局	改革プロジェクト推進課	3 (仮称)総合行政事務センター運営経費	48,000
文化市民局	地域活動推進課	4 くまもとポイント事業	20,540
	文化財課	5 漱石文化振興経費	10,000
健康福祉局	健康福祉政策課	6 心のバリアフリー推進事業	3,000
	健康づくり推進課	7 持続可能な食を支える食育推進事業	2,000
	医療政策課	8 アピアランスケア推進事業	5,690
環境局	脱炭素戦略課	9 市有施設脱炭素化推進経費	9,700
	水保全課	10 水質保全対策強化経費	2,935
経済観光局	雇用対策課	11 多様な人材の活躍促進事業	2,500
	観光政策課	12 観光戦略推進経費	15,700
		13 ナイトタイムエコノミー推進事業	43,500
	スポーツ振興課	14 熊本市生涯スポーツマスタープラン策定事業	7,600
都市建設局	都市デザイン課	15 中心市街地面の整備検討支援経費	3,960
会計総室		16 電子請求サービス導入経費	2,700

II 主な拡充事業

[①こども施策] (単位:千円)

局名	課名	項目	R6年度	R5年度	対前年増加額
こども局	こども政策課	1 結婚支援事業	37,000	2,000	35,000
	こども支援課	2 産後ケア事業	44,000	33,000	11,000
	こども家庭福祉課	3 こどもの居場所支援事業	10,000	6,600	3,400
教育委員会	総合支援課	4 いじめ・不登校対策経費	56,600	40,400	16,200
	放課後児童育成課	5 児童育成クラブ関連経費	1,905,400	1,381,170	524,230

[②こども施策以外] (単位:千円)

局名	課名	項目	R6年度	R5年度	対前年増加額
政策局	データ戦略課	1 データ利活用推進経費	44,100	10,000	34,100
総務局	情報政策課	2 電子自治体推進経費	108,590	55,000	53,590
	改革プロジェクト推進課	3 市役所改革推進経費	64,800	33,000	31,800
文化市民局	生活安全課	4 犯罪被害者等支援推進経費	3,130	1,000	2,130
	文化財課	5 記念館活用関連経費	51,500	20,000	31,500
健康福祉局	健康づくり推進課	6 節目年齢歯科健診	17,800	6,800	11,000
	生活衛生課	7 地域猫適正管理推進事業	14,100	7,000	7,100
環境局	水保全課	8 白川中流域かん養推進経費	65,900	51,800	14,100
		9 くまもと水ブランド情報発信経費	10,400	5,600	4,800
経済観光局	起業・新産業支援課	10 地域スタートアップ等支援事業	43,000	33,200	9,800
	観光政策課	11 インバウンド誘客対策経費	31,800	10,200	21,600
農水局	農業政策課	12 鳥獣対策事業	22,990	20,100	2,890
		13 アサリ・ハマグリ等水産資源増殖経費	10,000	9,000	1,000
都市建設局	移動円滑推進課	14 MaaS推進経費	56,000	53,000	3,000
	空家対策課	15 空家等対策事業	87,500	23,000	64,500
教育委員会	教育政策課	16 学校事務DX推進経費	14,800	8,500	6,300

関連資料 主な廃止・見直し事業

I 主な廃止事業

(単位:千円)

局 名	課 名	項 目		見直し 内容	対 前 年 削 減 額
議会局	総務課	1	議会デジタル化推進経費	b	▲ 2,849
財政局	税制課	2	納税指導員経費	a	▲ 19,957
文化市民局	生涯学習課	3	生涯学習推進計画策定経費	b	▲ 500
	文化財課	4	史跡等購入経費	b	▲ 5,707
健康福祉局	保護管理援護課	5	エアコン設置助成経費	b	▲ 12,000
	障がい福祉課	6	障がい者生活プラン及び障がい福祉計画等策定経費	b	▲ 4,000
	生活衛生課	7	全飲連全国熊本県大会補助経費	b	▲ 1,000
環境局	環境政策課	8	グリーンボンド発行準備経費	b	▲ 3,000
	廃棄物計画課	9	家庭ごみ再資源化推進経費	a	▲ 26,126
		10	3R推進経費	a	▲ 2,710
農水局	農業政策課	11	土壌分析推進事業	a	▲ 2,700
		12	植木地域農産物の駅屋根増築事業	b	▲ 48,300
都市建設局	建築保全課	13	公共建築物ZEB化推進経費	b	▲ 18,100

(廃止理由)

- a. より効果の高い事業への転換により廃止・休止
- b. 社会情勢・市民ニーズの変化や、事業の完了等により廃止
- c. 他の既存事業との統合等により廃止

II 主な見直し事業

(単位:千円)

局 名	課 名	項 目		見直し 内容	R6年度	R5年度	対 前 年 削 減 額
政策局	広報課	1	各種媒体を使った広報経費	a	44,330	48,700	▲ 4,370
総務局	改革プロジェクト推進課	2	市役所改革推進経費	a	16,800	33,000	▲ 16,200
	人事課	3	合理的配慮関係経費	a	800	2,900	▲ 2,100
文化市民局	文化財課	4	史跡公園管理経費	c	15,919	19,395	▲ 3,476
健康福祉局	健康福祉政策課	5	校区社協行動計画推進経費	a	15,670	19,000	▲ 3,330
環境局	廃棄物計画課	6	資源物持ち去り対策経費	a	15,300	22,600	▲ 7,300
	水保全課	7	節水対策経費	c	4,100	4,400	▲ 300
経済観光局	経済政策課	8	中小企業等DXアクセラレーション事業	a	20,000	32,000	▲ 12,000
	商業金融課	9	商店街魅力向上総合事業	b	15,900	20,500	▲ 4,600
	起業・新産業支援課	10	創業者チャレンジ支援・育成事業	a	15,400	24,200	▲ 8,800
	観光政策課	11	観光誘客促進事業	a	12,000	45,000	▲ 33,000
都市建設局	都市政策課	12	国土基本図修正経費	a	0	54,000	▲ 54,000
教育委員会	指導課	13	プール更新見直し	a	▲150,000	0	▲ 150,000

(見直し内容)

- a. 事業内容の見直し(単価や数量、手法等)による削減
- b. 一部事業の廃止や先送りなどの見直しによる削減
- c. 他の既存事業等の活用や統合、民間活用等の見直しによる削減

関連資料 消費税率引上げと本市の社会保障に関する取組

消費税率引上げ(5→10%)に伴う歳入の増(地方消費税交付金の増収見込) **+101.5億円**
(うち消費税率 2%引上げ(8→10%)に伴う歳入の増 +39.1億円)

【社会保障施策に要する経費】 (単位:億円)

項目	事業費	特定財源			一般財源
		国県支出金	市債	その他	
I.社会福祉関係	1,264.0	790.7	6.8	18.5	448.0
障がい福祉関係経費	318.1	215.2	1.0	0.3	101.6
介護・高齢者福祉経費	16.7	1.0	0.9	1.1	13.7
子ども・子育て関係経費	626.8	378.8	4.9	13.9	229.2
生活援護関係経費	276.3	194.3		2.3	79.7
総合福祉関係経費	26.1	1.4		0.9	23.8
II.社会保険関係	319.4	64.2		3.1	252.1
国民健康保険事業	83.3	35.8			47.5
介護保険事業	109.8	8.8			101.0
後期高齢者医療事業	126.3	19.6		3.1	103.6
III.保健衛生関係	117.4	12.3	2.3	1.0	101.8
健康づくり推進経費	34.1	0.4	2.3	0.7	30.7
医療対策・疾病予防関係経費	50.3	9.4		0.1	40.8
病院事業	20.5				20.5
児童衛生関係経費	12.5	2.5		0.2	9.8
合計	1,700.8	867.2	9.1	21.6	801.9

左記のうち、「社会保障の充実」に対応する主な事業 (単位:百万円)

事 項		事 業 内 容	事業費	一般財源
子ども 子育て支援		・幼児教育・保育の無償化 <人づくり革命分> ・子ども・子育て支援新制度 の実施	32,550	9,162
医療・ 介護	医療・介護サ- ビスの 提供体制改革	・介護人材の処遇改善 <人づくり革命分> ・在宅医療・介護連携、認知 症施策の推進など地域支援 事業の充実	1,194	322
		国民健康保険等の低所得 者保険料軽減措置の拡充	5,662	1,416
	医療・介護保険 制度の改革	介護保険の1号保険料の低 所得者軽減強化	1,087	272

(単位:千円)
【本市独自の主な社会保障施策】 事業費 (一般財源)
健康ポイント事業 71,100 (42,387)
(市民の自主的な健康づくり活動の支援に係る経費)
がん検診経費 566,200 (562,068)
(各種がん検診の業務委託に係る経費)
多子世帯副食費助成事業 101,500 (99,468)
(多子世帯が負担する保育園等の副食費に対する独自助成)

関連資料 こども局予算の全体像

153事業 620億円(前年度142事業 583億円)

※教育委員会事務局の取組に係る予算は計数に含めていない

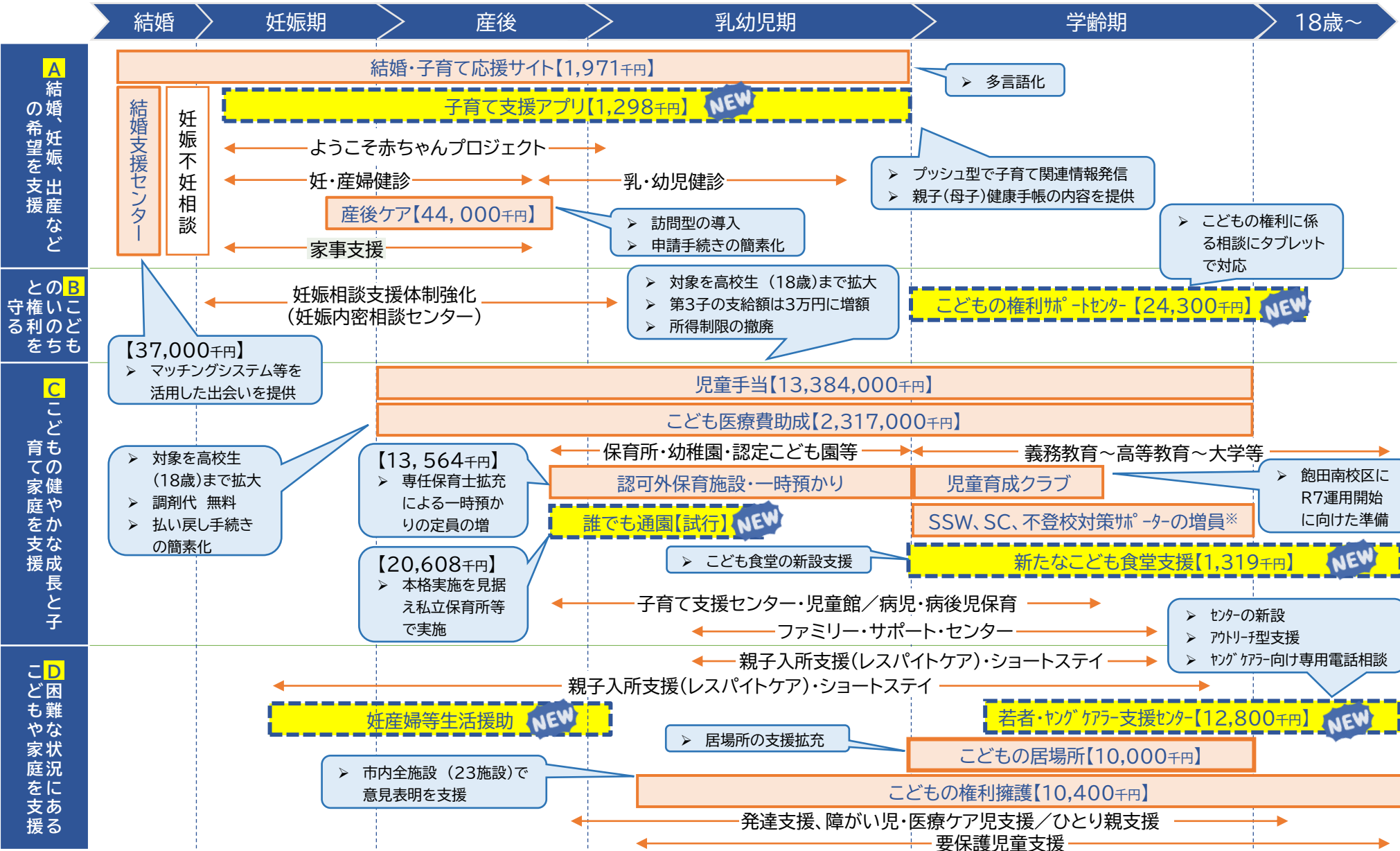
こどもが輝き、
若者が希望を抱く
まちの実現

① **結婚、妊娠、出産などの希望****(A)**を叶えるための支援を行うとともに、**こどものいのちと権利を守り****(B)**、**こどもの健やかな成長と安心してこどもを産み、育てることができる環境の整備****(C)**を進めます。

② すべてのこどもの最善の利益を確保するため、**困難な状況にあるこどもや子育て家庭を支援****(D)**します。

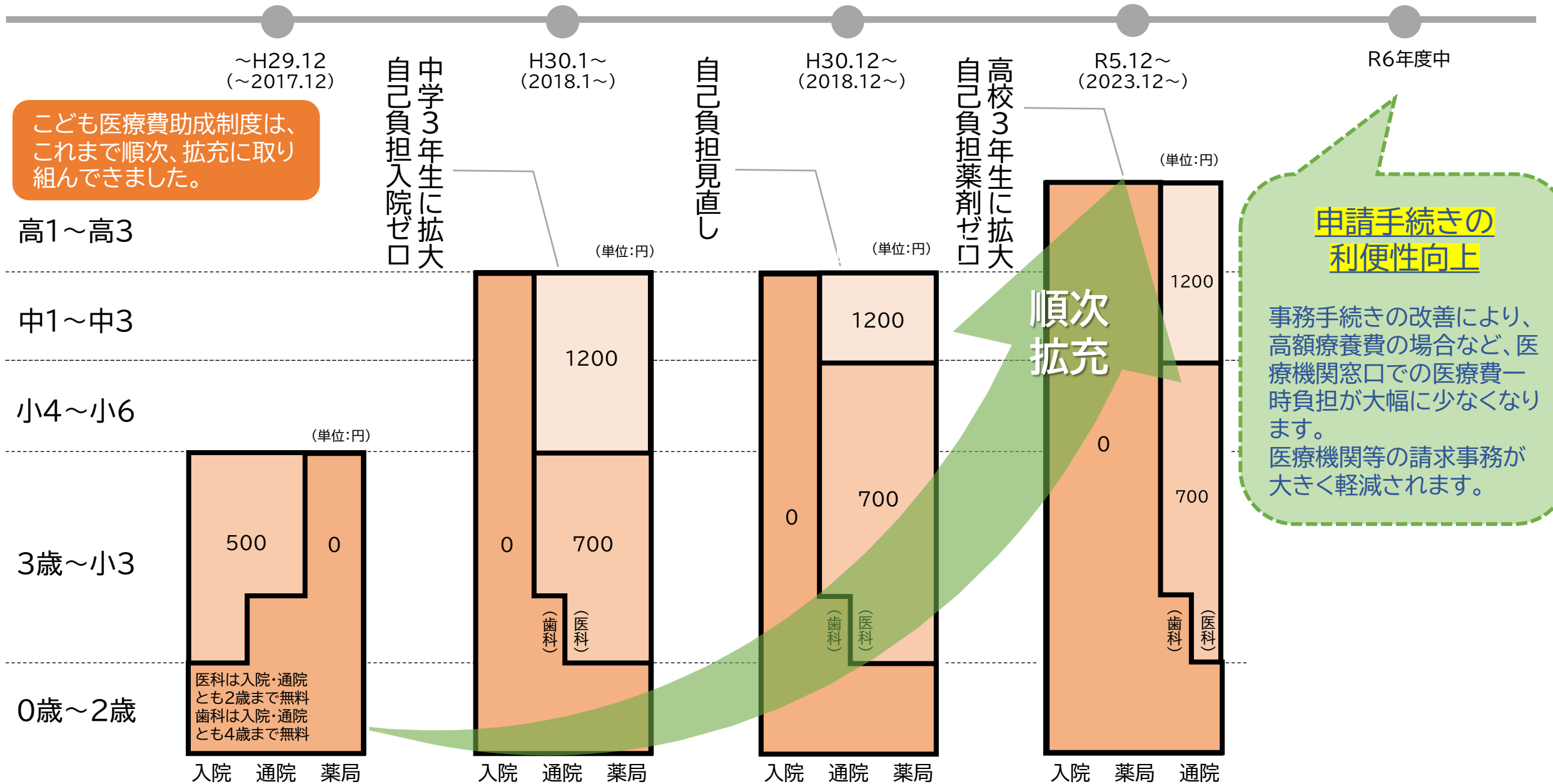
令和6年度
予算編成のポイント

- **対人・対面でのサービス**、子育て世代の満足度・安心感の向上につながる施策の充実に努めます。
- わかりやすく、かつ、それぞれの困りごとの解決に向け、**丁寧に寄り添って**いける相談支援体制を整えます。

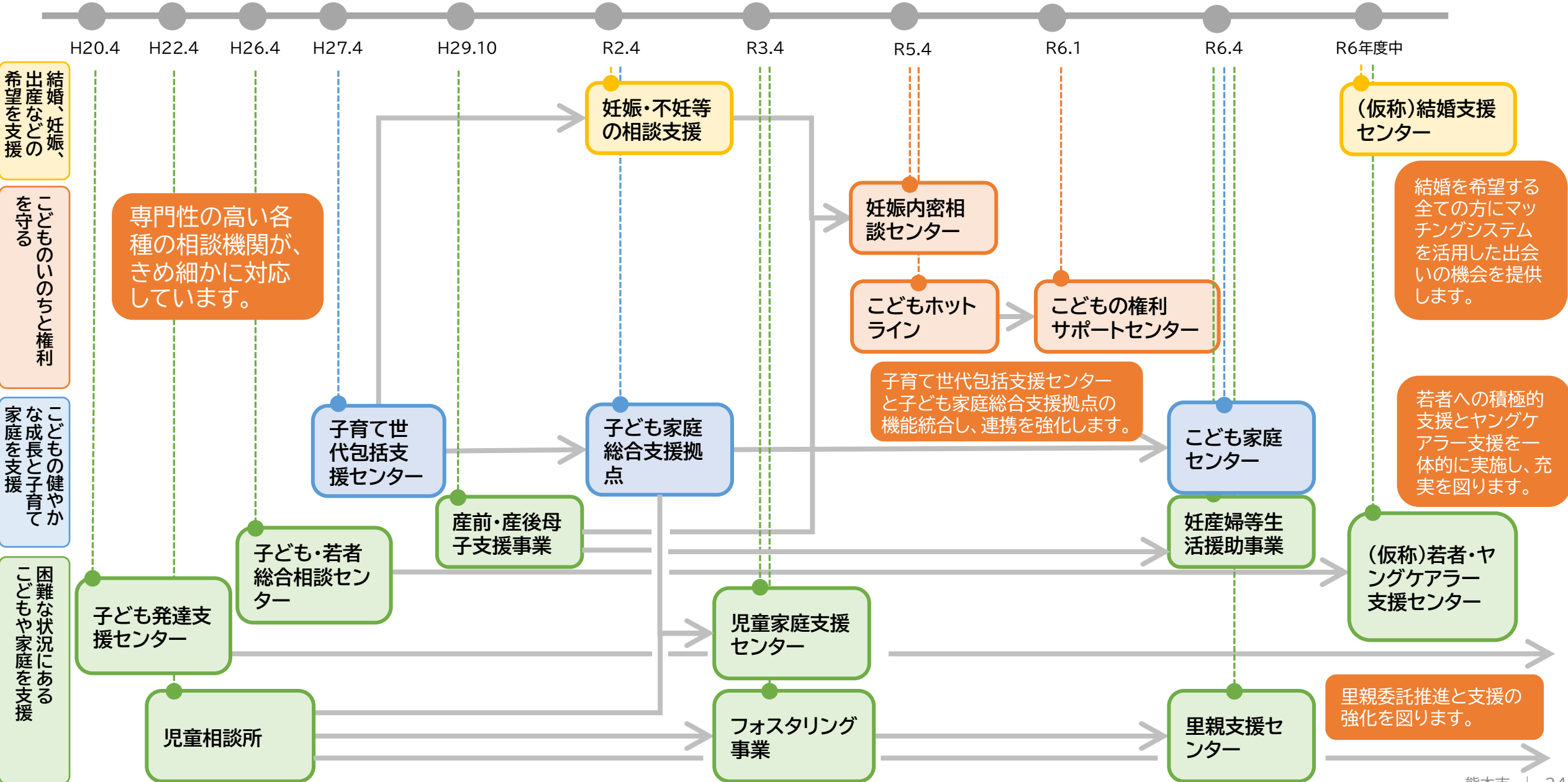


※一部教育委員会事務局の取組を含む

参考資料① こども医療費助成制度の変遷



参考資料② 相談支援体制の変遷



関連資料 TSMC関連予算の全体像

21事業 11.2億円(前年度:14事業 3.9億円)

※下記の表には再掲事業があるため No.と事業数は一致しない。
※令和5年度2月補正予算計上分を含む。

(単位:千円)

No.	プロジェクト	取組の方向性	事業名	局名	事業概要	令和6年度 当初予算額
01	戦略的な 土地利用検証	半導体関連産業の集積を見据えた 誘致活動の展開	■ 半導体関連企業誘致強化事業	経済観光局	TSMCのサプライヤー企業の調査やセミコン台湾への出展等の誘致活動を強化	14,500
02	人材確保・育成	人材不足への対応	■ 合同就職説明会開催経費	経済観光局	半導体関連産業も含めた合同就職説明会の開催	28,600
03			■ 地場企業インターンシップ促進事業		半導体関連産業も含めたインターンシップの開催(対象:県内外大学生等)	30,600
04			■ しごと学びWEBライブ事業		半導体関連産業も含めた地場企業と地域産業を学ぶ機会の創出(対象:小中学生)	12,000
05			■ UIJターン移住促進雇用対策事業		就職・移住相談に関するサポートデスクの運営や移住プロモーション等の実施	29,500
06				■ 首都圏プロモーション経費	政策局	首都圏ワーカー等をターゲットとした誘客や移住を推進する取組の実施
07	国際交流・広報	台湾からの移住者の受け入れ環境 整備	■ 台湾との交流促進経費	政策局	庁内の翻訳・通訳体制の強化(会計年度任用職員の雇用)	3,722
08		台湾に対するPR	■ 台湾との交流促進経費		台湾をターゲットとした本市の魅力をPRするための観光プロモーションの実施	1,168
09			経済観光局	■ 台湾誘客経費	台湾との直行便を活用した本市を起点とする周遊プロモーションの実施	5,000
10				■ インバウンド 誘客対策経費	福岡市、北九州市等と連携した周遊プロモーションの実施	1,000
11			■ 食の販路拡大事業	農水局	本市の農水産物・加工品の販路拡大の取組や食×観光の魅力の発信	3,000
12		■ 首都圏プロモーション経費	政策局	外国人記者クラブ交流会等におけるプロモーションの実施	3,000	
次頁につづく						

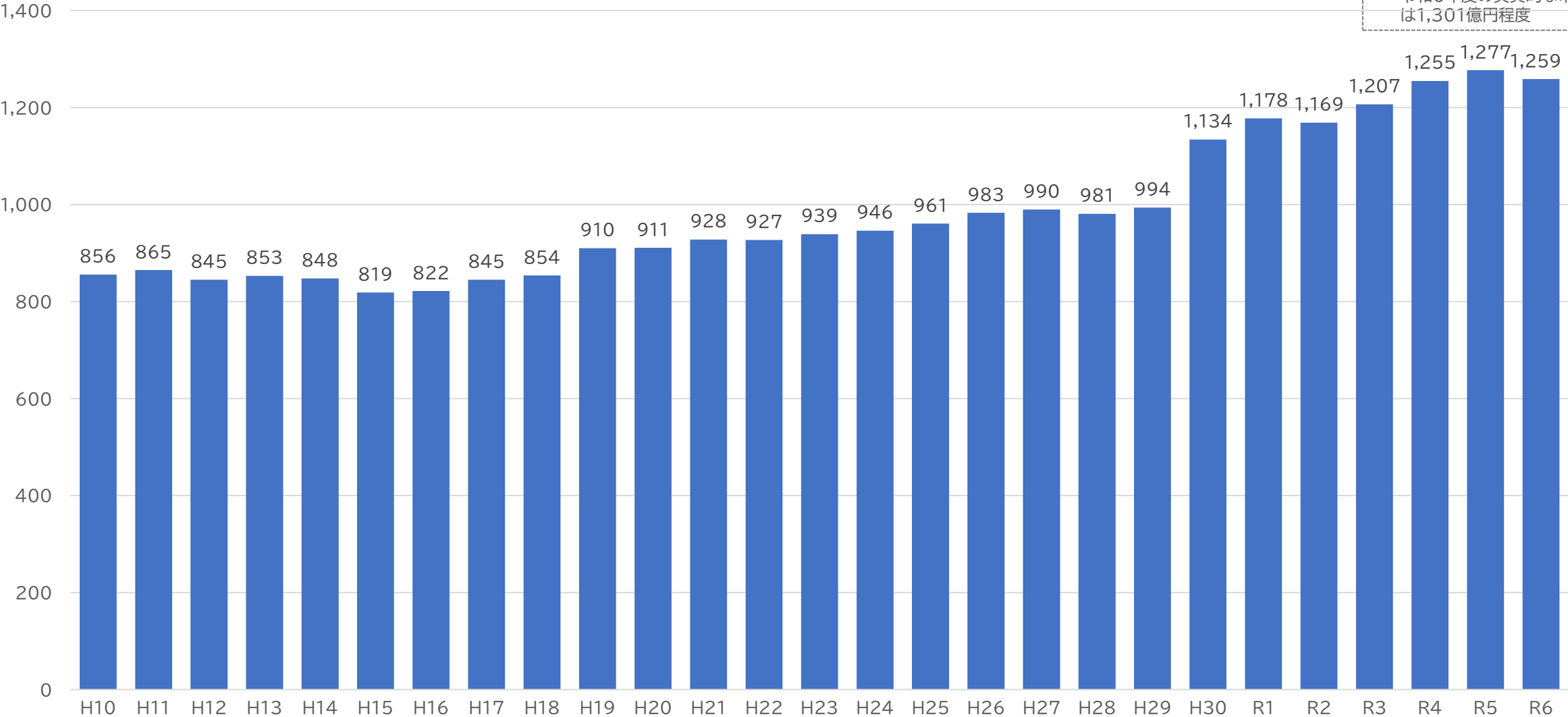
関連資料 TSMC関連予算の全体像(つづき)

(単位:千円)

No.	プロジェクト	取組の方向性	事業名	局名	事業概要	令和6年度 当初予算額
13	交通課題対策	企業誘致を見据えた交通インフラ 対策の実施	■ 公共交通利用促進事業	都市建設局	公共交通への転換による渋滞解消を図るためのバス・電車無料の日の実施	40,000
14			■ 半導体関連企業誘致交通対策経費		半導体関連企業等の進出に伴う交通対策のための工事及び設計等	200,170
15		熊本港の機能強化や都市圏3連絡 道路の実現	■ 港湾整備県事業負担金		熊本港における耐震強化岸壁等の整備	367,000
16			■ 10分・20分構想調査検討経費		住民参加型の道路計画を踏まえた概略ルート案等の検討	261,000
17	住環境対策	外国人受け入れ環境整備	■ 日本語指導環境整備事業	教育委員会	日本語指導が必要な児童・生徒に係る日本語指導教育環境の充実や転入時の手続き等に対応するための通訳支援	25,800
18		台湾からの移住者の受け入れ環境 整備	■ 台湾との交流推進経費	政策局	No.07 再掲	—
19			■ 外国人受入環境整備事業		地域日本語教室の開催	2,200
20		県外在住者の移住促進	■ UIJターン移住促進雇用対策事業	経済観光局	No.05 再掲	—
21	環境保全	地下水かん養対策の強化	■ 広域水保全体制運営経費	環境局	くまもと地下水財団における湛水事業の実施等	11,430
22			■ 白川中流域かん養推進経費		白川中流域における水田湛水の協力農家に対する助成	65,900
23		水質保全対策の強化	■ 公共用水域水質監視経費		公共用水域における要監視項目等の拡充・調査の実施	5,759
計						1,118,349

関連資料 市税決算額の推移

(単位：億円)



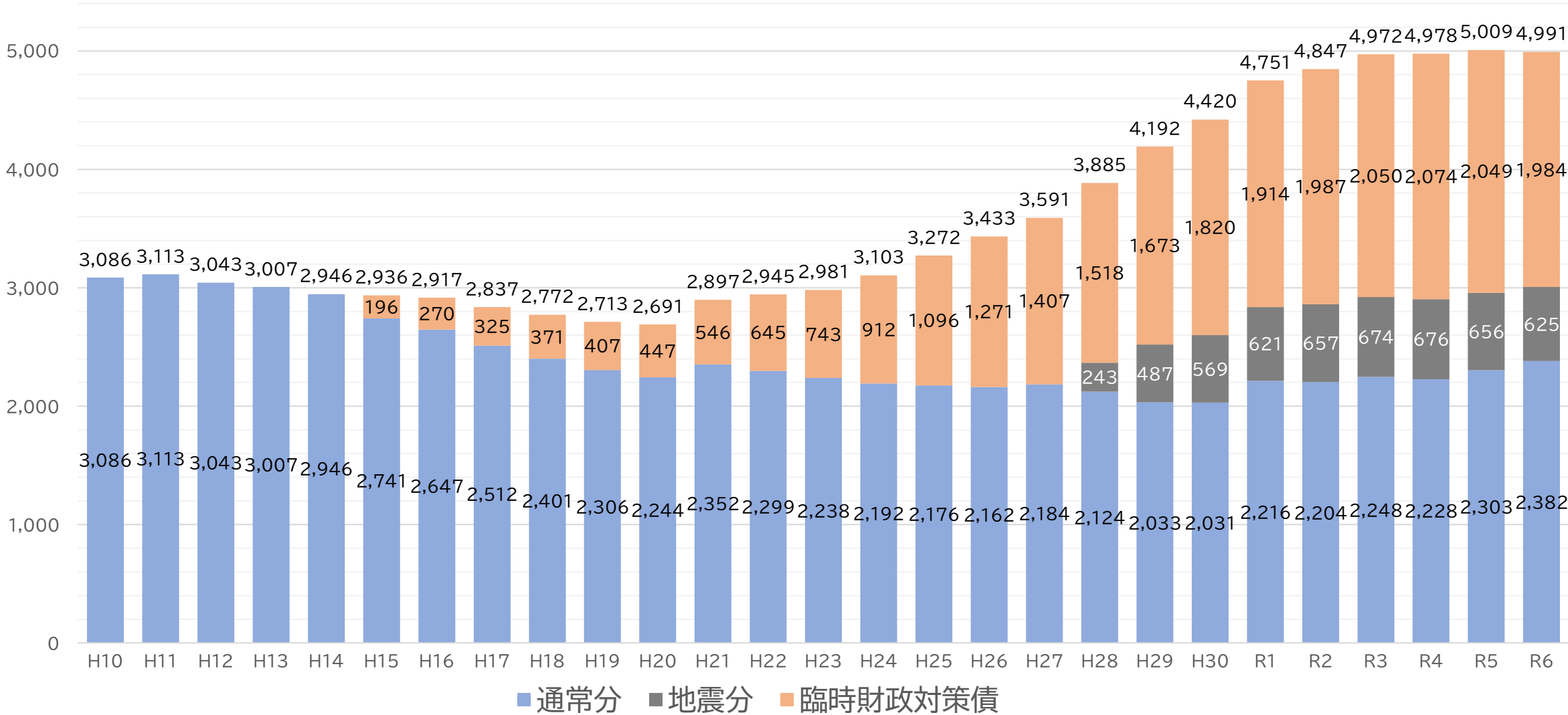
※ 地方特例交付金を加味した令和6年度の実質的な市税は1,301億円程度

※H29からH30にかけて県教職員の権限移譲分により99億円の増

※R5年度は2月補正後予算額、令和6年度は当初予算額

関連資料 市債残高の推移(一般会計ベース)

(単位：億円)



※R5年度は2月補正後予算額、令和6年度は当初予算額

令和6年度
当初予算(案)のポイント
各局の取組

当初予算のポイント(政策局)

上質な生活都市の実現に向けて、第8次総合計画の取組を着実に推進するとともに、熊本地震の経験と教訓を生かした「真に災害に強いまち」や第2期国際戦略に基づいた「戦略的な海外展開」や「地域の国際化」の実現を目指します。
また、人口減少などの課題解決に向け、スマートシティの実現に向けた取組やデータ利活用に向けた環境整備を行います。

総合計画の推進

総合計画の周知・広報 12,000千円

市民と本市のめざすまちの姿を共有し、今後のまちづくりの担い手として共に行動する意識醸成を図るため、第8次総合計画の周知・広報活動を行います。



「(仮称)熊本市第8次総合計画展」 展示イメージ

国際戦略の推進

戦略的な海外展開 58,386千円

海外に向けて本市の魅力を効果的に発信するとともに、本市の国際的なプレゼンスの向上を図るため、北米でのトップセールスや政策プロモーション活動等を行います。



ワシントンD.C. における熊本市PR

地域国際化の推進 257,831千円

多文化共生社会を推進するため、熊本市国際交流会館を中心に相談事業や異文化理解に関する事業等を行います。



熊本市外国人総合相談プラザ

友好姉妹都市等との交流・連携の推進

台湾との交流促進 4,890千円

台湾で開催されるイベント活動への参加を通して、本市の魅力についてPRを行います。
また、台湾半導体関連企業の熊本進出に伴い、今後もニーズが高まる行政文書の繁体字翻訳や台湾華語での通訳業務等に対応するなど、台湾からの受入環境の整備に取り組みます。



高雄市 マラソン交流

友好姉妹都市等との交流促進 14,990千円

交流都市締結10周年を迎えた中国・蘇州高新区との周年事業等による中国訪問をはじめ、友好姉妹都市等との交流を促進します。



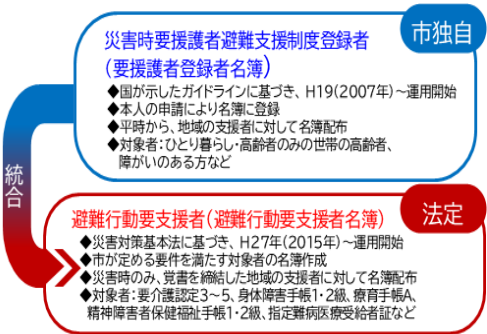
中国・蘇州高新区との交流

当初予算のポイント(政策局)つづき

真に災害に強いまちの実現

避難行動要支援者への支援 4,200千円

避難行動要支援者名簿の一本化、個別避難計画の作成推進のための同意確認や福祉専門職参画など、避難行動要支援者に対する支援の仕組み構築に取り組みます。



防災情報伝達体制の整備 330,688千円

防災行政無線の整備や緊急告知ラジオの電波受信エリアの拡充を行います。



防災行政無線



緊急告知ラジオ

データの利活用の推進・スマートシティの推進

データ利活用の推進 44,100千円

データに基づく事業立案等を進めていくために、データ利活用人材の育成や環境整備に取り組みます。



データに基づく事業立案等

スマートシティの推進 34,520千円

官民連携プラットフォームの運営や実証事業の補助、エリアデータ連携基盤の活用等により、スマートシティの推進を図ります。



スマートシティくまもと
推進官民連携協議会

首都圏プロモーションの推進

首都圏プロモーションの推進 30,000千円

地元経済活性化に向けた域外需要等の取り込み等を目的として、効果的かつ切れ目のないプロモーションの展開や、関係者等とのネットワーク強化の取組を推進します。



農水産物のPR



ネットワーク交流

新庁舎整備の推進

新庁舎整備の検討 43,000千円

新庁舎整備に向けて、建設地や庁舎の機能・規模、事業手法などの検討を進めるとともに、市民への情報提供・合意形成に取り組めます。



現庁舎(行政棟・議会棟)

当初予算のポイント(総務局)

職員の能力向上を図るとともに、市民に寄り添った上質な行政サービスの実現を目指します。

デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

行かない・書かない・待たない窓口の推進

45,400千円

市民の利便性向上及び職員の業務負担軽減の両立を図るため、区役所の窓口業務の課題分析及び業務フローの見直しなどの業務改善(BPR)に取り組み、書かない窓口の導入検討を進めます。

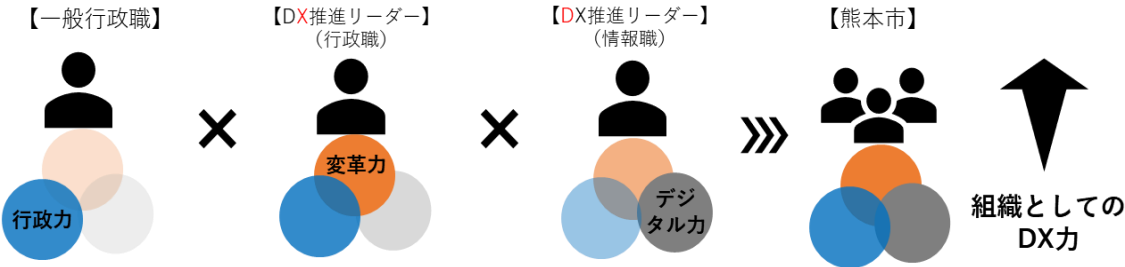


・職員が窓口支援システムに申請情報を入力

デジタル人材の育成

4,428千円

庁内でDXの中核を担う人材(DX推進リーダー)を育成するために、実践的な知識・スキルの習得に特化した研修を実施します。また、高度専門資格の取得を支援し、デジタルに関する高度な知識と技術を備えた専門性の高い職員の育成を図ります。



定型業務の集約化・効率化

(仮称)総合行政事務センターの設置

48,000千円

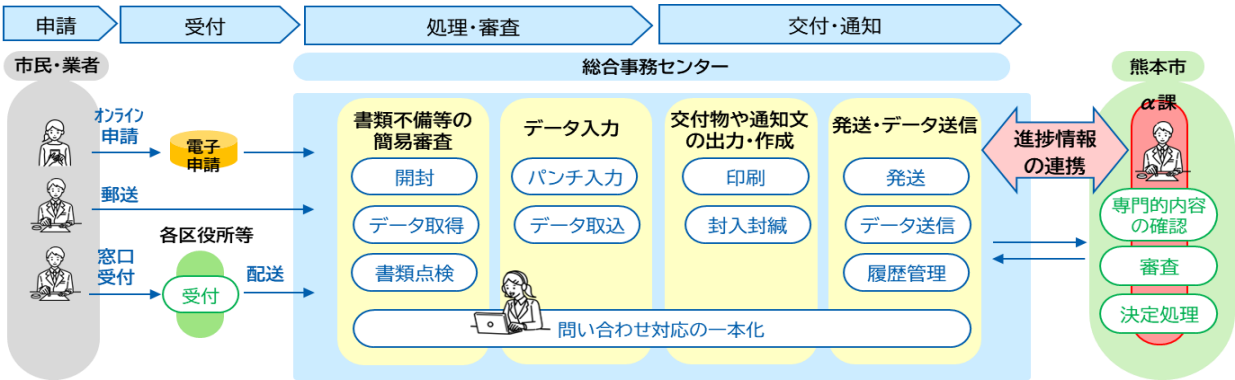
区役所や各局で取り扱う各種申請等に関する定型業務を集約し、民間ノウハウを活用しながら効率的に処理を行う「(仮称)総合行政事務センター」を令和6年10月から設置します。

(仮称) 総合行政事務センターを設置し、市民の利便性向上に取り組めます

- ✓ 申請から決定までに要する時間が短縮されます
- ✓ 問い合わせ先が一本化されます
- ✓ 窓口へ出向くことなく手続が可能になります
- ✓ 申請の処理状況がスムーズに確認できます



■ (仮称)総合行政事務センターの設置イメージ



(仮称)総合行政事務センターの設置イメージ

当初予算のポイント(総務局)つづき

市民に信頼される職員の育成

職員の能力向上のための研修推進 27,000千円

「職員成長・育成方針」に掲げる目指す職員像の実現のため、意欲的に学び、成長し続けるための機会を提供します。
また、職務を通じた「学び」と、定期的な研修による「気づき」を通して、自分自身や仕事に真摯に向き合い、「成長し続ける」ことができる人材を育成します。

若手職員の早期育成・自発的な成長の促進
若手職員へ向け、内発的動機づけ(貢献・成長・やりがい・仲間)につながるカリキュラムや、スキルアップのためのコンテンツを提供します。



ライフ＆キャリアデザイン研修の実施
自分のありたい姿を考え、導くための行動変容に向けて、年代やライフイベントに応じたキャリアの見直し、自己成長の機会を提供します。



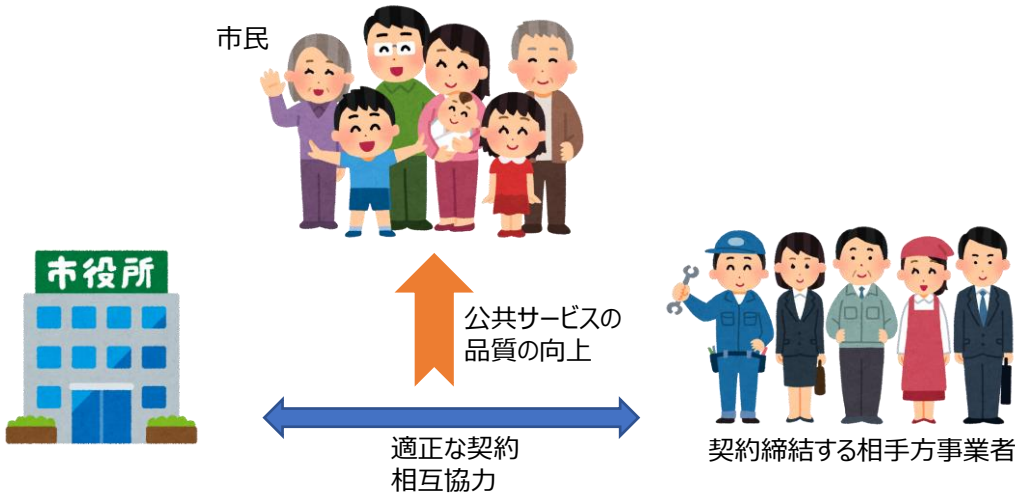
管理職のマネジメント機能の強化
組織全体の成長の観点から、個々の職員を成長させるため、部長職職員の「人材マネジメント力」及び課長職職員の「判断能力」の強化を図る研修を実施します。



契約事務の効率化

公契約条例の制定及び契約関連システムの運用 49,270千円

公契約条例の制定
「公共サービスの品質の向上」や「適正な労働環境の確保」等を図るため、市が締結する契約における、市及び事業者の責務等を定める「公契約条例」の制定を目指し、検討会議を設置します。



契約関連システムの運用
電子契約(紙の契約書に記名押印することに代えて、電子文書に電子署名することで締結する契約)を導入し、契約事務の更なるオンライン化による契約事務の効率化や利便性向上を図ります。



当初予算のポイント(財政局)

限られた財源と人員を有効に活用し、効果的かつ効率的な行財政運営に取り組みます。

公有財産の適正な管理及び公共施設等の最適化

公共施設マネジメントの推進 8,478千円

公共施設の総合的かつ計画的な管理・活用の推進に向け、ワークショップ等による情報共有・発信を図るとともに、公民連携手法による公共施設等の整備・運営に取り組みます。



公共施設マネジメント
ワークショップ

財産管理の適正化 19,660千円

公有財産の適正な管理・保全や未利用地の有効活用に取り組みます。



官民対話
(マーケットサウンディング)

適正かつ公平な課税と徴収の推進

市税収納率の向上 145,960千円

民間活力を活用した催告業務(コール、訪問)等の初期末納対策に取り組むとともに、職員を滞納処分に専念させることで、更なる収納率の向上を目指します。



eLTAX(市税の電子申告・納税システム)の推進 76,247千円

自宅やオフィスからインターネットを通じた市税手続きができるeLTAX(市税の電子申告・納税システム)を推進します。



多様かつ安定的な資金調達

グリーン/ブルーボンドの発行 17,500千円

グリーン/ブルーボンドの発行を通じた資金調達を行い、日本一の地下水都市として、地下水保全の取組などの財源に活用します。【 R6発行予定額50億円 】

令和5年度発行概要	
発行額	50億円
需要	63.4億円(52件)
投資表明	投資家から50件の投資表明
利率	0.904%(2bpのグリーンプレミアム※発生)
特徴	地下水保全の取組をブループロジェクトとして発行【西日本初!】

※グリーンボンドが普通債に比べて利率が低くなる現象のこと



《充当プロジェクトの例》
水源かん養林の整備

当初予算のポイント(文化市民局・区役所)

自主自立のまちづくりを進め、安全で安心して暮らせる地域づくり、人権尊重の共生社会の実現を目指すとともに、熊本城をはじめ多くの貴重な文化財の適切な保存・調査研究・整備・活用に取り組み、文化芸術をいかしたまちづくりを推進します。

男女共同参画・人権尊重の社会づくりの推進

女性の活躍推進に向けたキャリアアップ支援 5,000千円

企業ニーズが高いWebマーケティングに特化したスキル習得から企業とのマッチングまでの伴走型支援を行うことで、女性のキャリアアップと所得向上を目指します。



安全安心な市民生活の維持・構築

犯罪被害者等に対する支援 3,130千円

犯罪の被害に遭われた方や遺族が、再び平穏な生活を営むことができるよう、新たに市独自の見舞金制度を創設することで経済的支援を行うとともに、相談体制の拡充や、犯罪被害者等の実情等に対する理解促進を図るための広報啓発を行います。

自主自立のまちづくりの推進

各区のまちづくり推進経費 100,000千円

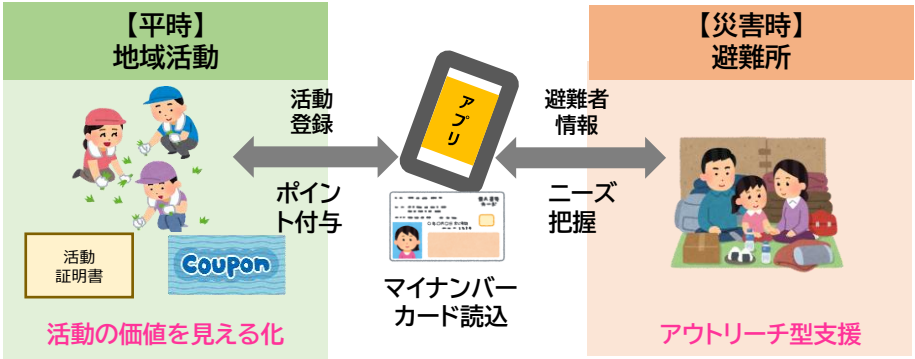
自主自立のまちづくりを推進するため、地域の特性をいかした事業を実施することで、地域力の維持・向上を目指します。

町内自治会活動等の支援 287,440千円

町内自治会活動の運営や防犯灯の維持管理に係る経費の一部を助成します。また、校区自治協議会の運営支援を行います。

くまもとポイント制度の普及・促進 20,540千円

令和5年度末に運用開始するくまもとアプリの運用保守を行うとともに、事業の普及・促進を図るため、効果的な広報周知を行います。



当初予算のポイント(文化市民局・区役所)つづき

文化をいかしたまちづくり

熊本市文化芸術推進基本計画の策定 3,150千円

令和5年度に実施した調査分析を踏まえ、福祉や観光、教育など様々な分野と連携して文化をいかしたまちづくりを推進するための計画を策定します。

漱石文化の更なる振興 10,000千円

夏目漱石の3旧居(第三・第五・第六)とゆかりの地を一体的に活用するため、歴史ドキュメンタリードラマを制作するほか、各旧居の活用方針や新たな観光ルートの開拓に向けた計画を策定します。



夏目漱石内坪井旧居

熊本城の着実な復旧と公開

熊本城の復旧事業 2,013,177千円

熊本地震により甚大な被害を受けた熊本城の復旧工事を進めるとともに、復旧過程の段階的公開と活用を図ることで、観光資源としての早期再生を目指します。

特別公開の円滑な運営 559,800千円

熊本城特別公開へのさらなる入園者数増加を図るとともに、入園者が快適で安全・安心に利用できる施設運営に取り組めます。



市民ニーズに的確に対応できる行政サービスの提供

マイナンバーカードの交付促進と円滑化 1,061,400千円

マイナンバーカードの円滑な交付体制を引き続き維持するとともに、利便性向上のため、窓口を集約した新マイナンバーセンターを開設します。



市民満足度の高い区役所の推進 75,587千円

タブレット端末を用いた住民異動届の作成支援や、住民異動届情報の自動入力、さらにキャッシュレス端末付きセミセルフレジを導入することで、窓口の混雑緩和と業務の効率化に取り組めます。

当初予算のポイント(健康福祉局)

年齢や障がいの有無などに関わらず、だれもが生涯にわたり安心していきいきと暮らすことのできるまちを目指します。

だれもが生きがいを持ち、お互いに支え合える共生社会・包摂社会の推進

地域福祉活動の推進 216,937千円

地域福祉活動の担い手である校区社会福祉協議会による地域課題解決に向けた取組や、民生委員・児童委員の活動に対する支援を行うほか、孤独・孤立に悩む方に対する支援体制の構築を図ります。

地域包括ケアの推進 868,200千円

高齢者支援センターささえりあを中心として、高齢者に関する各種相談対応を行うとともに、地域における生活支援サービスの創出や自立支援型ケアマネジメントの取組等を推進します。

障がいのある人の自立支援と社会参加の推進 168,410千円

障がい者が地域で安心して生活できるよう、ライフステージに応じた支援を行うとともに、障がい者が長く働ける環境づくりを進め、障がい者雇用を促進します。

心のバリアフリーの推進 3,000千円

障がいの有無等にかかわらず、お互いが理解を深め支え合う「心のバリアフリー」の普及啓発に取り組めます。



地域包括ケアのイメージ
出典:平成28年3月 地域包括ケア研究会報告「地域包括ケアシステムと地域マネジメント」



障がい者サポーター制度
シンボルマーク

がんとの共生 5,690千円

がん治療に伴う外見の変化(脱毛、乳房の切除部分等)に対して医療用ウィッグ等の購入助成支援を行い、就労や社会参加促進、安心して豊かな日常生活を通じてがんとの共生を実現します。

骨髄バンク等の普及啓発の推進 1,500千円

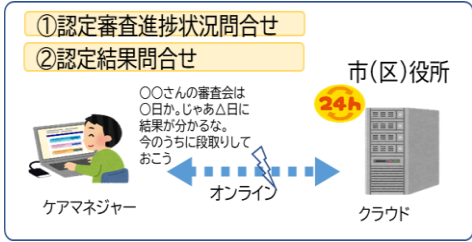
希望するすべての患者への骨髄等移植の実現に向けて、骨髄等移植の普及啓発イベントを開催し、ドナー登録者数の増加を目指します。

地域猫適正管理の推進 14,100千円

飼い主のいない猫の不妊去勢手術を無償で実施し繁殖を抑制することで、町内自治会等が行う地域猫活動のさらなる推進を図ります。

健康福祉分野における市民サービスの向上等 115,090千円

介護認定情報確認のオンライン化、重度心身障害者(児)医療費助成における併用レセプト方式の導入等により、市民サービスの向上等を図ります。



介護認定情報確認のオンライン化
※要介護認定申請者の同意が必要

市民の安心を確保するための社会保障制度の適切な運営

生活保護受給者への就労支援等の実施 44,070千円

就労支援相談員とケースワーカーが連携して、生活保護受給者の実情に応じたきめ細かな就労支援を行います。

国民健康保険会計の健全化 650,625千円

医療費適正化に向けた取組や収納率向上対策等を行い、単年度収支の均衡に努めます。



生活困窮者への相談支援体制の充実 138,200千円

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却できるよう、自立に向けた相談支援等の体制を構築します。また、生活保護世帯の中学生に対する学習支援を行い、高校への進学を支援します。

当初予算のポイント(健康福祉局)つづき

人生100年時代を生きるための健康づくりの推進

楽しみながら取り組める健康づくり 71,100千円

熊本連携中枢都市圏住民が自主的に楽しみながら継続的に健康づくり活動を行うことができるよう、健康ポイント事業を運用します。



生活習慣病などの予防・悪化防止 573,325千円

個別受診勧奨などの取組により、がん検診受診率の向上を図ります。また、慢性腎臓病(CKD)や循環器疾患等、QOL(生活の質)の低下につながる生活習慣病予防の啓発や病診連携システムの推進等に取り組めます。

効果的な介護予防の推進 91,746千円

民間活力を活用した市主催の介護予防教室において、プロスポーツチーム等と連携して開発した運動プログラムを実施し、誰でも気軽に楽しく健康づくりに取り組める環境の整備を推進します。



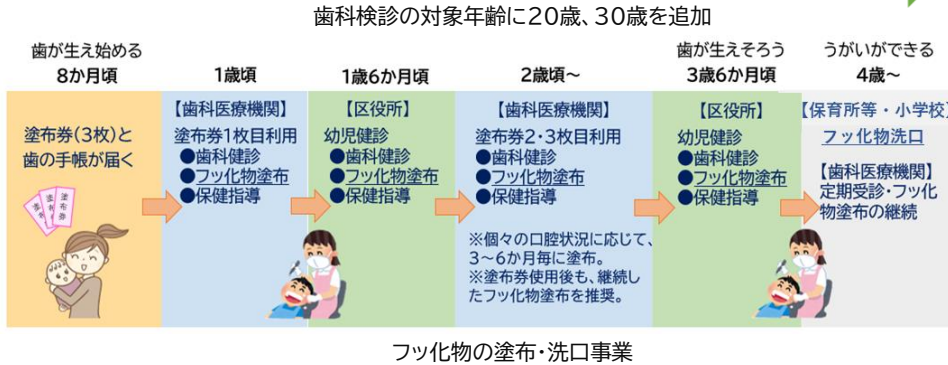
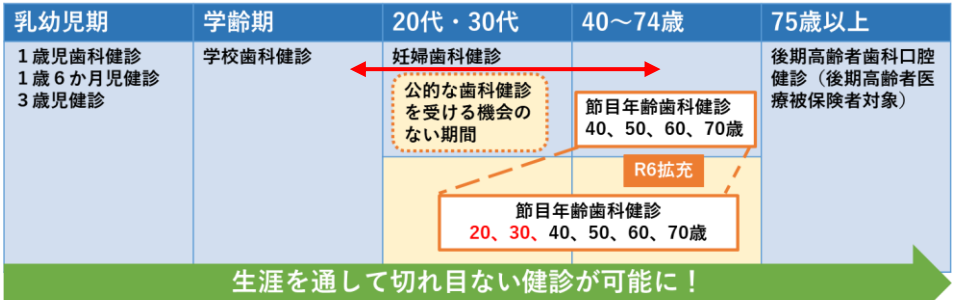
持続可能な食を支える食育の推進 2,000千円

郷土料理伝承事業を通じて、次世代を担うこども達へ熊本の食文化を伝えるなど、持続可能な食を支える食育を推進します。



切れ目のない歯と口腔の健康づくりの推進 69,811千円

こどもの頃から生涯にわたって歯と口腔の健康を保ち、豊かな生活を実現するため、妊婦歯科健診、フッ化物塗布・洗口、節目年齢歯科健診などライフステージの特性に応じた切れ目のない歯科口腔保健を推進します。



保健衛生体制の強化と医療提供体制の確保

定期予防接種等の推進 2,813,400千円

小児等に対する定期予防接種や、風しん抗体検査等を行います。

初期救急医療体制の整備 180,137千円

休日、夜間及び年末年始期間における救急患者の診療体制を確保します。



市営墓地・斎場の適切な管理の推進 696,519千円

老朽化に伴う植木火葬場の建替や、計画的な火葬場の整備に取り組むとともに、指定管理者制度による市営墓地の適切な管理を図ります。

当初予算のポイント(こども局)

こどもが輝き、若者が希望を抱くまちの実現に向け取り組みます。

こどものいのちと権利を守る取組

こどものいのちと権利を守る取組 24,300千円

こどもの権利サポートセンターでは、学校内外を問わずこどもの権利に係る相談に対応するとともに広報・啓発等に取り組みます。



予期せぬ妊娠に悩む方への支援 3,000千円

妊娠内密相談センターでは、予期せぬ妊娠に悩む方に対する伴走型支援を行うとともに、妊娠や出産に関する正しい知識の普及啓発等に取り組みます。

結婚、妊娠、出産などの希望を実現

結婚を希望する方への支援 37,000千円

結婚支援を包括的にコーディネートする結婚支援センターを新設し、結婚を希望する全ての方にマッチングシステムを活用した出会いの機会を提供します。



産後ケアの充実 44,000千円

新たに居宅訪問型を導入し、専門職による心身のケアや育児のサポート等きめ細かい支援を行います。

こどもの健やかな成長と子育て家庭を支援

こどもの居場所の充実 64,919千円

こども食堂の啓発や新たな食堂の開設支援を行います。保育園、幼稚園、認定こども園等の玩具・本・教材の充実に取り組みます。



医療費助成の申請手続きの簡便化 66,100千円

こども医療費(ひまわりカード)について、事務手続きを改善します。これにより、高額療養費に該当する場合など、医療機関窓口で医療費を一時負担することが大幅に少なくなります。また、医療機関等の請求事務の軽減が大きく図られます。



子育て支援手続きのDX推進 1,298千円

子育て支援アプリを導入し、予防接種、健康診査等の子育て支援情報をプッシュ型で提供します。

一時預かり、障がい児入所支援の充実 374,172千円

公立保育所において児童の一時預かりの定員を拡大します。「こども誰でも通園制度(仮称)」について、令和6年度中の試行的事業の開始を目指し、制度設計を進めます。障がい児を受け入れている私立保育所に保育士の人件費等を補助します。

当初予算のポイント(こども局)つづき

こどもの健やかな成長と子育て家庭を支援

児童手当の拡充 13,590,908千円

支給対象を高校生年代まで拡充し、所得制限撤廃します。
第3子以降加算を15,000円から30,000円に増額します。

妊産婦・子育て世帯・こどもへの相談支援 112,329千円

こども家庭センターを各区役所内に新設し、保健師等の専門職が中心となり、すべての妊産婦・子育て世帯・こどもの包括的な相談支援等を行う体制を強化します。



困難な状況にあるこどもや家庭を支援

若者・ヤングケアラーへの支援 22,416千円

(仮称)若者・ヤングケアラー支援センターを新設し、専門資格やスキルを持つ相談支援員が訪問相談による支援等を行います。また、ヤングケアラーに関する専用相談窓口を開設し、課題を抱える若者への支援体制を強化します。

障がい又は障がいの疑いのあるこどもへの支援 34,720千円

こども発達支援センターでは、障がい又は障がいの疑いのあるこどもが、家庭や保育所、学校等での生活が円滑に送れるよう、医師や心理相談員、言語聴覚士等の専門のスタッフが個々の状況に応じた支援を行います。

困難な状況にあるこどもや家庭を支援(つづき)

児童養護施設等の体制を強化 49,860千円

児童養護施設等における補助業務従事者の雇用に係る経費を助成し、施設における業務負担の軽減・離職防止・人材確保を図ります。

こどもの権利擁護 10,400千円

児童養護施設等を定期訪問し、入所するこどもが自らの処遇や施設の環境に対する意見を表明するための支援を実施します(対象施設を4→23施設に拡充)。



事業の推進に向けて

(仮称)熊本市こどもの計画を策定 4,000千円

こども・子育て施策を総合的に推進するために、こどもや若者、子育て当事者等の意見を反映させた「(仮称)熊本市こども計画」を策定します。

当初予算のポイント(環境局)

恵まれた環境をまもり、はぐくみ、未来へつなぐ、持続可能な環境都市を目指します。

カーボンニュートラルの実現

くまもと脱炭素循環共生圏の推進 4,300千円

「2050年カーボンニュートラル」の実現に向け、熊本連携中枢都市圏の市町村と連携し、地球温暖化対策を推進します。

熊本連携中枢都市圏の市町村有施設における電力の脱炭素化 80,295千円
本市の施設における電力の脱炭素化 9,700千円

熊本連携中枢都市圏の市町村有施設における電力の脱炭素化に向け、環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」を活用し、率先して太陽光発電設備の整備や公用車のEV化、施設のZEB化等に取り組みます。

省エネルギー等の推進 93,190千円

市民や事業者の省エネ機器等の導入への補助金交付等、地球温暖化対策と災害に強い自立・分散型のエネルギーシステムの構築を推進します。



市立学校に導入した太陽光発電設備



公用車に導入した電気自動車

生物多様性の保全と自然との共生

生物多様性の保全 1,680千円

生物多様性を保全しそのめぐみを受け続けるため、いきものフェアの開催等、生物多様性の保全について、情報発信や普及啓発に取り組みます。



江津湖

自然環境の保全 17,300千円

江津湖地域の生態系保全のため、指定外来魚の駆除等を行うとともに、アライグマによる被害を防止するため、特定外来生物対策を行います。

環境影響評価制度の導入 12,900千円

本市の魅力である清らかな地下水や豊かな緑等の自然環境や景観の保全に取り組むため、事業計画段階から、事業者自らが調査・予測及び評価を行い、環境保全の観点からより良い事業実施につなげていく「(仮称)環境影響評価条例」の制定に取り組みます。

環境衛生における調査研究体制の強化

感染症対策の強化 9,400千円

環境総合センター(地方衛生研究所)における検査体制の強化や職員の資質向上を図るとともに、新たな環境問題への対策にも的確に取り組みます。



当初予算のポイント(環境局)つづき

持続可能な循環型都市の実現

プラスチックの削減と資源循環の推進 2,000千円

プラスチックごみの発生抑制とバイオプラスチックの利用促進の啓発を行うとともに、プラスチック使用製品廃棄物の資源循環に向けた実証実験を行います。



家庭ごみの再資源化 1,594,000千円

空きびんや空き缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装などの資源物を分別収集し、リサイクルを推進します。

資源物持ち去りへの対応 15,300千円

持ち去り防止指導員によるパトロールや追跡調査、買取業者等への立ち入り調査等を行い、資源物の持ち去りを未然に防ぎます。



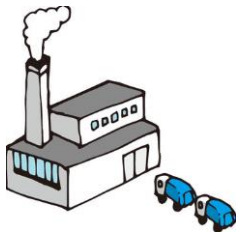
食品ロス対策の推進 5,400千円

フードドライブ等の食品ロス削減の取組や市民・事業者への意識啓発の広報等を行い、食品ロス対策を推進します。



東部環境工場の機能維持 3,030,500千円

燃やすごみの処理を安定的に稼働させるため、廃熱ボイラやクレーン設備等の主要設備の計画的な整備を実施します。



地下水保全対策の強化

水田湛水による地下水かん養 65,900千円

水田湛水に取り組む協力農家への助成金を増額し、白川中流域(菊陽町、大津町等)における転作田を活用した水田湛水事業による地下水かん養を強化します。



水源かん養林の整備 62,300千円

白川上流域(西原村、大津町等)において、森林の持つ水源かん養機能(水資源貯留、水量調節、水質浄化、洪水緩和等)を高度に発揮させるため、森林整備を行います。



水質保全対策の強化 2,935千円

公共用水域における水質の監視を拡充・強化するとともに、PFOS・PFOAの暫定指針値の超過が確認された地点について、地下水質保全の対策を強化します。

広域連携や協働による地下水の保全 11,430千円

広域的な地下水保全対策を実施する「(公財)くまもと地下水財団」と連携し、水質・水量、啓発等の地下水保全対策を推進します。



くまもと水ブランドの情報発信 10,400千円

熊本の地下水を「くまもと水ブランド」として位置づけ、その地下水を育む市民・事業者・行政の協働による取組を国内外に発信します。

当初予算のポイント(経済観光局)

半導体関連企業の集積やインバウンドの回復等の好機を生かし、地域経済の持続的な発展や更なる賑わいの創出に向けた取組を推進していきます。

半導体関連産業の集積を見据えた戦略的な企業誘致

半導体関連企業の誘致と受入用地の整備 14,500千円

TSMCと取引がある企業情報の収集や本市産業用地の整備を踏まえた立地ニーズ等の調査を行います。

セミコン台湾での本市ブースの出展等、国内外の半導体関連の展示 会へ参加し、本市の立地環境等のプロモーションを行うとともに、立地可能性のある企業への積極的なアプローチを行います。

協定を締結した民間事業者と連携し、産業用地の整備を進めます。



セミコン台湾への出展(R5年9月)

社会経済を支える労働力の確保

現在及び将来を見据えた人材確保支援 72,190千円

地場企業と求職者のマッチングを支援するため、合同就職説明会やインターンシップを開催します。また、県外在住者の移住就業促進を目的として、合同就職説明会と連携した移住ツアーを実施します。

地元定着を目的として、小中学生向け「しごと学びWEBライブ」や高校生向け地域課題解決パンフレットの制作等により、地元企業を知る機会を創出します。



インターンシップ



しごと学びWEBライブ

多様な人材確保支援 11,300千円

求職者や就業者のスキル習得を図るため、eラーニングを活用したリスキリングを支援します。

個人向けにテレワークに必要なスキルを習得する講座、企業向けに業務改革セミナーを実施します。

外国人労働者等の日本語能力向上のため、日本語習得研修及びビジネスマナー講座を拡充します。

成長段階に応じたスタートアップ等※1への支援

スタートアップエコシステム構築に向けた取組 58,400千円

域内外のメンター※2等によるビジネスプランのブラッシュアップ等、スタートアップ等の成長段階に応じた伴走支援を行います。

ベンチャーキャピタル※3や金融機関、事業会社等に対するビジネスプランの発信機会を創出します。

スタートアップと起業等に関心のある学生とのマッチング機会を創出します。

JETRO(独立行政法人日本貿易振興機構)と連携した世界展開機会を創出します。

スタートアップ都市づくりに先進的に取り組む自治体との連携を強化します。



スタートアップ等に対する伴走支援



首都圏でのプロモーションイベント

※1スタートアップ等:新しい技術やサービス、ビジネスモデルを軸に、成長が期待できる起業家や新事業に取り組む中小企業等

※2メンター:先輩起業家や各分野の専門家等、起業家の事業立ち上げや事業の拡大をサポートできる者

※3ベンチャーキャピタル:スタートアップ等に出資を行う投資会社

事業承継の促進

事業承継・引継ぎ支援事業 2,000千円

事業承継に関する基礎知識や事例紹介等のセミナーを実施するとともに、セミナーの模様をアーカイブ配信します。



当初予算のポイント(経済観光局)つづき

戦略的な観光誘客・MICE誘致と賑わいの創出

熊本市観光マーケティング戦略のビジョン実現に向けた取組 91,000千円

ポストコロナにおける本市への訪日観光客誘客を目的にプロモーション等を実施することで、インバウンドの更なる回復を図り、地域経済の活性化に繋がります。

本市での滞在時間の増加、周遊及び宿泊喚起による観光消費額の拡大を図るため、ナイトタイムエコノミー※1を推進し、地域経済の活性化に繋がります。

戦略に基づく各種取組の進捗等を把握する調査・分析を踏まえた施策の検証等を通じて、戦略の着実な推進を図ります。

※1ナイトタイムエコノミー：夜間の経済活動。夜ならではの消費活動や地域の魅力創出を行うことで、経済効果を高めることを目指す。



MICE誘致戦略事業 90,000千円

「第2期熊本市MICE誘致戦略」に基づく事業を展開するとともに、熊本国際観光コンベンション協会などの関係団体と連携し、学会、国際会議及びコンサート・イベント等の誘致に取り組みます。

イベント開催による賑わいの創出 285,000千円

火の国まつり・お城まつり・江津湖花火大会・熊本城マラソンの開催等により、本市のにぎわいを創出することで、地域経済の活性化及び交流人口の拡大を図ります。



熊本城マラソン2023



第46回火の国まつり



江津湖花火大会2023

ライフステージに応じた生涯スポーツの推進

ライフステージに応じた生涯スポーツの振興に向けた取組 35,800千円

近年の社会状況の変化を踏まえ、「第2次熊本市生涯スポーツマスタープラン」の見直しを実施します。

令和7年度に開催予定の第80回熊本県民体育祭に向けて、実行委員会の設置など準備を行います。

ハイデルベルク市とのスポーツ交流を令和6年度より再開します。



競輪事業会計

熊本競輪場の再建 495,008千円

熊本地震で被災した熊本競輪場の全面開業に向け、地域の防災・コミュニティの拠点となるよう残存施設の解体、駐車場整備等を行います。

市民生活向上への貢献(一般会計繰出金) 200,000千円

競輪事業の収益の一部を一般会計に繰り入れることで、都市整備や社会保障等の財源として活用します。



当初予算のポイント(農水局)

経営向上に挑戦する農漁業者を応援するとともに、安全・安心で良質な農水産物を国内外にアピールすることで、農水産業の持続的発展を目指します。

競争力の高い農水産業の振興

園芸農業などの地域の特性をいかした農業やスマート農業の推進 199,045千円

本市の農業の競争力を高めるため、消費者・事業者ニーズを踏まえた生産の拡大や、品質向上、低コスト化、出荷の安定化、ICTやAI技術などを活用したスマート農業の推進とともに、自然災害への対策に取り組めます。
また、農業の生産力向上と持続性の両立を目指し、環境に配慮した農業を推進します。



稼げる水産業の推進 16,435千円

収益性が高い養殖漁業を推進し、競争力の強化を目指します。特に、生産量が低迷している水産資源の増殖・持続的な維持を推進するため、有用魚貝類の種苗放流や二枚貝類の保護育成に取り組めます。



鳥獣被害の防止・軽減 22,990千円

更なる捕獲体制の強化と捕獲頭数の増加を図るため、熊本市有害鳥獣駆除隊等への支援を拡大するとともに、市民との協働による鳥獣対策を推進し、地域住民と一体となった捕獲や鳥獣が近づきにくい環境整備など総合的な鳥獣被害対策に取り組めます。



しなやかで強い経営基盤の確立

経営体の強化 230,742千円

担い手を育成・確保するとともに、農地の集積等による経営の安定化を通じて持続可能な農業の実現を目指します。



生産基盤の整備・保全 3,247,702千円

農地・土地改良関連施設及び漁場・漁港施設の整備・保全を推進し、国土強靱化の視点も踏まえた持続可能な農水産業のための経営基盤の確立を目指します。
特に、農地等の湛水被害の軽減や、漁港施設の整備及び航路・泊地の浚渫など、施設の更新や維持補修を計画的に進め、生産性の向上とともに災害や環境変化に強い基盤づくりに取り組めます。



農と食の魅力創造

118,836千円

農水産業の新たな価値を生み出す「農と食の魅力創造」に向けて、民間企業との連携強化やトッププロモーションを実施するとともに、通信販売等を活用した効果的な販売促進活動により、熊本の良質な農水産物のブランド化・高付加価値化、販路開拓・拡大を推進します。
また、更なる海外販路拡大を図るため、関係機関と連携したくまもと輸出促進ネットワークにおいて、事業者の輸出力強化に向けた支援を行うとともに、商談会等の販路開拓の取組を強化します。



当初予算のポイント(都市建設局)

安全で良好な都市基盤が整備されたまちの実現に取り組みます。

多核連携都市の実現

適正な土地利用の推進 90,630千円

多核連携都市の実現に向け、社会情勢の変化や地域の実態を踏まえた計画改定やメリハリある土地利用の検討を行います。

昼も夜も歩いて楽しめる魅力的な都市空間の創出 292,660千円

花畑広場や熊本駅白川口駅前広場など、中心市街地において整備した都市基盤を最大限活用し、回遊性が高く賑わいのある、昼も夜も歩いて楽しめる魅力的な都市空間の創出を図ります。



▲花畑広場

良好な都市景観の形成 36,800千円

良好な都市景観の形成に向け、町屋等の地域資源を活用したまちづくりへの支援や、屋外広告物の適正化に取り組みます。

安心・安全なまちづくり 34,100千円

盛土規制法の運用開始に向け、規制区域の作成並びに既存盛土等の現地調査を行います。

豊かな住生活の実現

良好な居住環境の形成 856,310千円

住宅のバリアフリーやマンション適正管理などへの支援や熊本地震により発生した液状化の対策を進めます。さらに、社会変化に応じた課題を把握するとともに、更なる住生活の質の向上を目指し、熊本市住生活基本計画の改定を行います。

総合的な空き家等対策の推進 97,500千円

空き家等の適正な維持管理や措置、利活用の促進など総合的な空き家等対策を推進し、安全・安心な魅力ある住環境を実現します。さらに中古住宅の活用により定住促進を図ります。

良好な市営住宅の供給 3,312,794千円

市営住宅長寿命化計画に基づいて、市営団地の維持補修、用途廃止、集約建替を進めます。

公共交通と自動車交通のベストミックスの構築

バス路線網の再編 64,200千円

バスの共同経営事業に対する支援や西南部、植木地域へのAIデマンドタクシーの導入に取り組みます。

公共交通の利用促進 106,560千円

バス、電車の利用促進に向けた無料の日実施やまちなかフリーパスの実証実験、バス停ベンチの設置等に取り組みます。

公共交通の維持確保 1,588,906千円

公共交通の維持確保に向け、路線バスや市電等への運行支援を行います。

自転車利活用の推進 52,050千円

サイクル&ライド駐輪場の整備や自転車安全利用の推進等に取り組みます。



▲AIデマンドタクシー



▲バス・電車無料の日



▲高平団地集約建替イメージ

当初予算のポイント(都市建設局)つづき

安全で利便性の高い都市基盤の充実

「10分・20分構想」の実現 261,000千円
市中心部から高速道路ICや熊本空港までのアクセスを強化する「10分・20分構想」の実現に向けて、住民参加型の道路計画等に取り組みます。

半導体関連企業誘致に伴う交通対策経費 200,170千円
半導体関連企業等の進出に伴う交通需要への対応として、対策路線に係る工事及び設計等の実施により、交通対策を進めます。

熊本西環状道路(池上・砂原工区)の整備推進 4,974,500千円 ▲10分・20分構想
都市圏内外の人流・物流、災害時活動を支援するため、「池上工区」及び「池上インター線」の令和7年度開通及び「砂原工区」の早期開通に向けて整備を進めます。

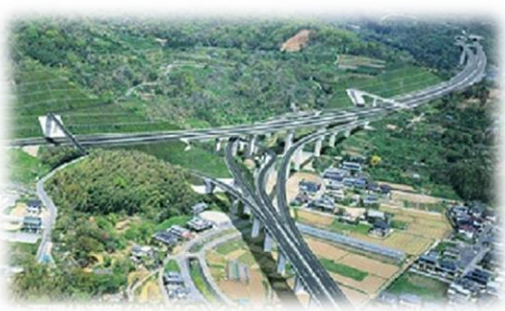
都市計画道路の計画的な整備 2,568,845千円
(都)パイン通り線、(都)坪井龍田陳内線等、都市の骨格を形成する都市計画道路の整備を進めます。

インフラ老朽化対策などの推進 1,903,430千円
災害に強い道路網を形成するため、橋梁など道路施設の老朽化対策を進めます。

広域・準用河川等の改修 807,650千円
洪水による被害の防止・軽減を図るため、河道の改修等を行います。



▲河川改修の事例(旧天明新川)



▲熊本西環状道路(池上・砂原工区)



▲橋梁メンテナンス

持続可能な「森の都」の実現

“緑の基本計画”アクションプログラムの策定と事業展開 25,000千円
令和5年度までに計画策定を終えた10エリアにおいて、市民・企業との協働による花と緑に関する取組を実施するとともに、新たなエリアでの計画策定を進めます。

NEO GREEN PROJECT 11,130千円
花と緑による持続可能なまちづくりとして、市民・企業・関連団体との協働による花と緑のプロジェクトを展開します。



▲アクションプログラムの取組

くまもと花博の開催 73,400千円
くまもと花博を3エリア(街なか・水辺・まち山)で開催し、花や緑のある暮らしにつなげます。



▲花のトンネル



▲フラワーマルシェ



▲山頂ブランコ

樹木点検・再生事業 96,800千円
令和5年度実施した総点検結果がC判定の樹木(1年後要点検)の点検・伐採を行うとともに、補植工事を行います。

グリーンインフラ事業 100,000千円
緑の持つ防災減災、賑わい、景観向上といった多機能性を活かしたグリーンインフラによるまちづくりの一環として、白川右岸緑地のリニューアル(憩の空間)整備に取り組みます。

安全で安心な公園環境の整備 243,000千円
安全で快適な公園空間を確保するため、老朽化した公園遊具等の更新を行います。また、公園資源の多様なストック効果を高めるため、ニーズに即した改編を行い、公園の活性化につなげます。



▲遊具改修

当初予算のポイント(消防局)

あらゆる災害から市民の生命財産を保護することを目標とし、火災予防対策の推進や消防体制の充実強化、地域の災害対応力の強化を図ります。

消防機能の充実

消防車両の整備 313,000千円

次の消防車両を更新し、消防力を強化します。

車種	配備先
ポンプ車	南消防署、託麻出張所
救急車	西・北消防署 小山・河内・島崎・鮑田天明出張所
後方支援車	消防局
軽消防車	田崎・清水出張所
連絡車	消防局

▼ 更新車両イメージ



消防行政DXの推進 8,080千円

消防行政におけるデジタル化の推進により、更なる市民サービスの向上、業務効率化、消防力強化を目指します。

- ・電子申請受付業務の拡充
- ・広報用資器材の充実強化
- ・救急資器材管理供給システム(SPD)の継続
- ・Live119の継続

西消防署の移転 401,000千円

中央区にある庁舎を西区へ移転し建替えることで消防体制の充実強化とさらなる市民サービスの向上を図ります。

- ・用地の取得
- ・基本計画の策定



小島出張所の移転 14,700千円

庁舎の老朽化、敷地面積の狭さ等の様々な課題を解決するために移転し建替えることで、消防体制の充実強化とさらなる市民サービスの向上を図ります。

- ・基本実施設計



広域的な災害対応体制の強化

大規模災害時における応援体制の構築 1,380千円

大規模災害や特殊災害に対応するため、市町村又は都道府県の区域を越えて、消防力の広域的な運用を図ります。

▼ 災害時の活動状況



救急救助体制の充実

あらゆる感染症への対策 10,200千円

感染防止資器材を計画的に配備することで、活動する救急救隊員や消防隊員の2次感染を防止するとともに市民への感染拡大防止を図ります。

▼ 感染防止対策



職員の各種研修 35,000千円

救急救命士の資格取得や、消防・救急活動に必要な免許・資格等を取得します。

消防団の体制強化

消防団の円滑な運営と充実強化 26,600千円 ▼ 消防団の活躍

地域防災力の中核として重要な役割を担っている消防団の円滑な運営と充実強化を行います。

消防団活動拠点施設と災害対応力の充実強化 159,500千円

地元消防団の活動拠点である機械倉庫や消防団の車両・資機材等を有効に機能させるため計画的に整備を行います。



当初予算のポイント(教育委員会事務局)

予測困難な時代において、こどもたち一人ひとりが豊かな人生とよりよい社会を創造し、それぞれの夢や希望の実現に向けて自ら考え主体的に行動できるよう、多様な教育機能の整備・充実を図ります。

主体的に考え行動する力を育む教育の推進

教育の情報化 1,807,400千円

小中学校の児童生徒1人に1台整備しているタブレット端末の活用を引き続き推進します。また、小中学校の普通教室に配備している大型提示装置(電子黒板)を更新し、新たに特別教室にも導入します。

Kumamoto Education Week 2,000千円

こどもから大人まで、多様な社会の関係者が教育のあり方を共に考え、行動につなげることを目的として、オンラインや会場でのリアルイベントを交えたKumamoto Education Weekを開催します。



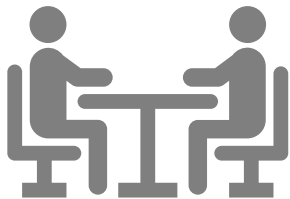
こどものいのちと権利の擁護

いのちを守る教育の推進 2,600千円

性に関する科学的な知識と適切な判断力を身につけるため、市立の小中学校、高校、特別支援学校で、産婦人科医等の専門家による「いのちの大切さを考える講演会」を開催します。

スクールカウンセラー・
スクールソーシャルワーカーの配置 180,400千円

スクールカウンセラーを雇用し、児童生徒の心のケア等、専門的なカウンセリングを行います。令和6年度はスクールソーシャルワーカーを5名増員し21名とすることで、福祉的課題等を持つ児童生徒への支援の更なる充実を図ります。



最適な教育環境の整備

教職員の人材確保 8,000千円

大学生等に、本市の学校で学習指導の補助等を経験してもらうことにより、大学で学んだ理論と教育現場での体験の往還を通じて、教員としての資質能力や本市教員への志望動機の向上につなげます。

学校現場のDX 14,800千円

保護者からの欠席等連絡や学校だよりの電子配布などができるスマートフォンのアプリケーションを全校に導入します。

教職員の働き方改革 14,047千円

中学校に配置する部活動指導員を3名増員し、教員の負担軽減と部活動の充実に取り組みます。

天明校区施設一体型義務教育学校の整備 294,373千円

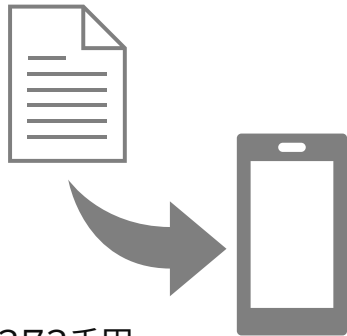
天明校区における本市初の施設一体型義務教育学校の設置に向け、新校舎建築等のための基本・実施設計等を行います。

学校施設整備方針の検討 38,000千円

学校施設の改築を契機として、藤園中・城東小、江南中・向山小・向山幼稚園の魅力ある学校づくり基本計画の策定を検討します。

学校施設・設備等の整備 5,618,711千円

安全安心で良好な学習環境を整備するため、学校施設長寿命化計画に基づく施設や設備の改修、トイレの洋式化、エレベータ整備等のバリアフリー化等に取り組みます。



白川小新校舎(2024年1月竣工)

当初予算のポイント(教育委員会事務局)つづき

こども一人ひとりを尊重した教育の推進

いじめ・不登校対策の推進 56,600千円

ユアフレンドの実施や心のサポート相談員の配置、フレンドリーの運営、オンライン学習支援の実施など、いじめや不登校への対策に取り組めます。
令和6年度は、不登校対策サポーターを21名に増員し、校内支援体制の充実を図ります。



学級支援員の派遣 408,300千円

学校現場で特別な教育的配慮を必要とする児童生徒のために学級支援員を配置します。
令和6年度は19名増員し187名とすることで、学校の支援の更なる充実を図ります。

夜間中学の運営体制整備 33,398千円

令和6年4月に開校する県立夜間中学において、県と連携し、義務教育未修了者や義務教育段階の学び直しを希望する方に就学の機会を提供します。



生涯にわたる学びの提供と学びの成果をいかす機会の創造

児童育成クラブの体制整備 1,905,400千円

手狭な施設や老朽化した施設の改築・増築を行い、児童が安心して衛生的な環境で過ごせるよう施設整備を行います。また、支援員の処遇改善を行うなど、クラブの安定的な運営を図ります。



市立図書館の魅力的な運営の推進 391,004千円

資料の計画的・効果的な収集により紙と電子の両面で蔵書の充実を図るほか、児童向け電子書籍コンテンツの活用促進に取り組めます。
また、学校図書館支援センターを中核として、学校図書館の活用、運営支援、読書活動を推進します。

当初予算のポイント(病院局)

質の高い医療サービスを提供するため、診療機能の充実等を図ります。

施設・設備の最適化

医療機器等の整備 419,696千円

小児用人工心肺装置や保育器などの医療機器の更新等を進めます。

データヘルス改革への対応 3,000千円

植木病院の訪問看護ステーションにオンライン資格確認等システムを導入するとともに、レセプトのオンライン請求を開始します。



整備機器のイメージ

施設の改良 30,000千円

建具開閉時における患者の安全性及び利便性向上のため、熊本市民病院の建具にストッパー等を設置します。



改修建具のイメージ

働き方改革への対応

医療従事者等の増員 192,905千円

医師や看護師等の必要な職員の確保に努め、診療機能の充実を図ります。

医師事務作業補助者の配置 82,000千円

熊本市民病院に配置している医療クラーク(医師事務作業補助者)を増員し、医師の事務負担軽減を図ります。(27人配置→28人配置)

特定行為看護師等の養成 8,100千円

医師の判断を待たずに、手順書により、一定の診療の補助(特定行為)を行う特定行為看護師や認定看護師を養成し、医師の負担軽減を図ります。



当初予算のポイント(上下水道局)

「熊本市上下水道事業経営戦略」に定める4つの将来像の実現に向け、以下の事業に重点的に取り組みます。

将来像1.快適で安全安心な都市生活を支え続ける(安全安心)

将来像2.循環型社会の構築に貢献し続ける(環境保全)

将来像3.お客さまから信頼されるとともに、質の高いサービスを提供し続ける(信頼)

将来像4.安定した事業経営(持続)

将来像1.快適で安全安心な都市生活を支え続ける(安全安心)

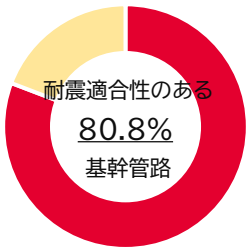
●水道事業

安全安心な水道水の供給に係る取組 10,209千円

新たにPFHxSの検査追加など水質検査の強化や有機フッ素化合物が検出された世帯の水道水への切替経費など安全安心な水道水の供給に取り組めます。

水道施設更新事業 3,970,684千円

「災害に強い水道の確立」のため、水道施設更新計画に基づき重要な水道施設及び基幹管路・老朽管の更新・耐震化に取り組めます。



管路の耐震化

第6次拡張事業 1,731,335千円

第6次拡張事業計画に基づき水道施設の機能強化及び基幹管路の新設によるバックアップ体制(補給管整備)の強化などに取り組めます。

●下水道事業

下水道施設の改築更新・耐震化 3,842,250千円
(うち国補正予算 210,000千円)

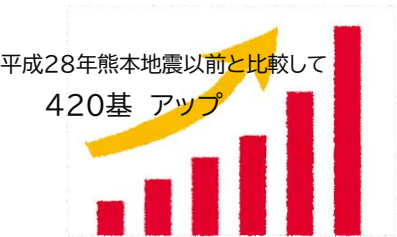
「災害に強い下水道の確立」のため、ストックマネジメント計画及び総合地震対策計画に基づき重要かつ老朽化した下水道施設の改築更新、耐震化に取り組めます。

未普及解消事業 4,652,000千円

生活環境の向上のため、下水道未普及地区において下水道管渠の整備に取り組めます。

浸水対策事業 1,686,825千円

「熊本市下水道浸水対策計画2023」に基づき浸水被害が多発する3地区を追加し、計画的な内水氾濫対策に取り組めます。



マンホールトイレの整備

当初予算のポイント(上下水道局)つづき

将来像2.循環型社会の構築に貢献し続ける(環境保全)

地下水保全の取組 51,444千円

新たな産業集積に対応すべく今後も継続して 地下水を水道資源として利用していくため、白川中流域水田かん養の強化や水源かん養林整備など環境局と連携して取り組みます。

グリーン／ブルーボンド発行経費 9,135千円

水環境保全の取組の財源として、グリーン／ブルーボンドを発行します。



下水道資源の有効活用 516,144千円

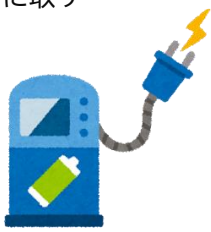
中部・東部浄化センターに続き西部浄化センターに消化ガス発電設備を設置、南部浄化センターに続き東部浄化センターに下水汚泥由来繊維利活用システムを導入し、脱炭素化を推進します。

省エネルギー技術の導入 256,188千円

カーボンニュートラル地域モデル処理場計画に基づいて、南部浄化センターの施設更新に取り組みます。

電気自動車等の導入 1,711 千円

カーボンニュートラルに向けて、公用車EV化や充電設備の設置に取り組みます。



将来像3.お客さまから信頼されるとともに、質の高いサービスを提供し続ける(信頼)

水道100周年記念事業 24,219千円

令和6年度、本市の水道は、通水100周年を迎えます。

地下水を育む自然と人々の取組、水道事業を支えてきた人々への『感謝』
おいしい水と100年にわたる水道事業への『誇り』
熊本市の水道を未来へと繋いでゆく『誓い』

これらをコンセプトに100周年に関する記念事業を実施します。

記念式典及び花畑広場併設イベントの開催、記念誌作成等



くまもと水ブランド発信への取組 4,702千円

良質でおいしい水道水を国内外へ情報発信するため、企業と連携したボトル用給水機の設置やロゴマークの作成等水道水のブランディングへ取り組みます。

水道の情報発信拠点及び水環境の教育施設として水の科学館の活用計画の基本方針を策定します。



当初予算のポイント(交通局)

安全・安心な運行体制を確保することはもとより、個々のニーズに対応した質の高いサービスを提供し、顧客満足度の向上を図るとともに、経営形態の見直しなど持続安定的な経営に取り組みます。

市電に対する市民の愛着醸成や職員の士気向上

熊本市電開業100周年記念事業関係費 21,000千円

市民や観光客に、市電が身近な交通手段であることを改めて認識いただき、これまで以上に市電をはじめとする公共交通の利用促進等を図るため、開業100周年記念式典や各種イベント等の開催、市電の歴史を後世に残すための記念誌を発行します。



過去の式典の様子

市電の輸送力強化 ～計画的な車両更新～

多両編成車両導入事業 890,565千円

車両の老朽化に伴う車両更新、朝タラッシュ時の輸送需要への対応及びバリアフリー対応車両の充実を図るため、現行定員1.5倍程度の多両編成車両2編成を導入します。



新車両の外観イメージ



新車両の内装イメージ

上下分離方式への移行準備

一般財団法人への出捐金

64,000千円

R7年度からの上下分離方式の導入に必要な上物事業者(一般財団法人)を設立し、スムーズな移行に向けた準備を進めるため、上物法人で必要となるシステムの構築費や、運賃収入がない期間における人件費等を出捐します。

